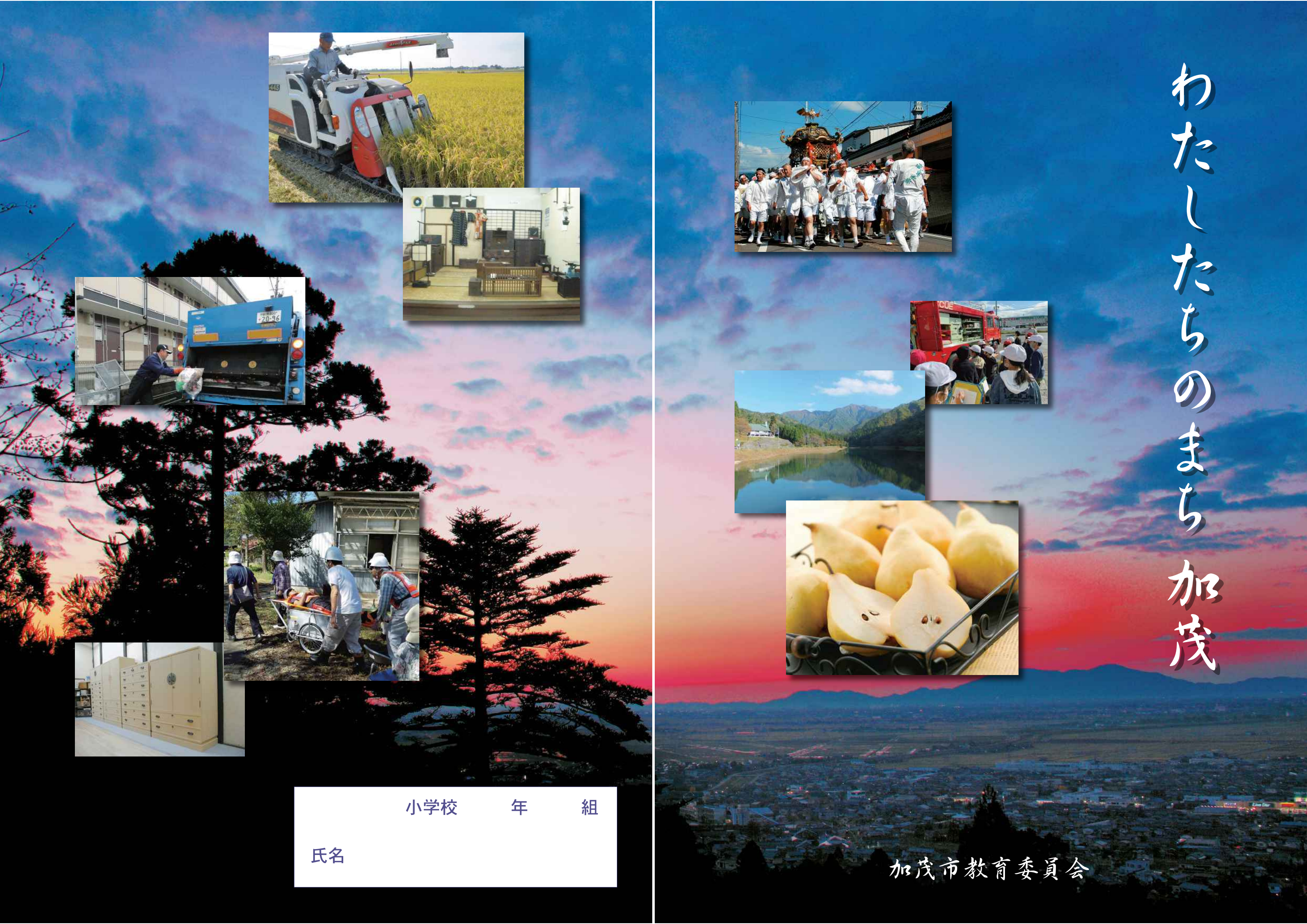




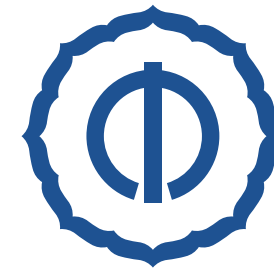
	小学校	年	組
氏名			

わたしたちのまち 加茂

加茂市教育委員会

わたしたちのまち 加茂

小学校3・4年生社会科副読本



加茂市章

くもりのない青海神社の八咫鏡の中に市名の頭文字「カ」を入れ、永遠の理想と市勢の限りない発展を象徴したものです。

制定 1934（昭和9）年11月3日



加茂市の木「杉」

市内には、加茂山の爺杉をはじめ、樹齢数百年の名木が多く、治山治水上で大切な役割を持っていることや、杉はまっすぐに育つなどの理由で選ばれました。

制定 1991（平成3）年3月



加茂市の花「雪椿」

きびしい冬の風雪にも耐えて、春には美しい花を咲かせることや、加茂山公園にたくさんあって、雪椿まつりで親しまれていることなどの理由で選ばれました。

制定 1991（平成3）年3月

加茂市教育委員会

3・4年生のみなさんへ

3年生・4年生では、わたしたちの住んでいる加茂市の人々のくらしの様子や、そのくらしをよりよくするための人々の工夫や努力について学習します。

加茂市は市内の中心を清らかな加茂川が流れ、加茂山公園や粟ヶ岳などがあり、自然が豊かなところです。

町並みが京都に似ているなどの理由から「北越の小京都」と言われています。「北越」とは越後（新潟県）と越中（富山県）をあわせてよぶ言葉ですが、新潟県で小京都とよばれているのは加茂市だけです。

加茂市は昔からたんす、建具、家具、びょうぶなどの木工品や織物のまちとして栄えてきました。また、農業も盛んで、お米や梨などの果物がたくさんつくられています。他にも電気、機械、自動車部品など工業製品もたくさんつくられています。

「わたしたちのまち加茂」は、みなさんが加茂市のことについて考えるときに必要な、地図・写真・グラフ・仕事の中心になっている人々の話などを集めたものです。

この本をおおいに活用して加茂市の魅力を発見し、もっと加茂市を好きになってもらいたいです。そしてすべての人が笑顔でくらせるまちを、みんなで築いていきましょう。

も く じ

3・4年生のみなさんへ 1

1 わたしたちのまちと市

- (1) 学校のまわりの様子 4
- (2) 加茂市の全体の様子 6

2 店で働く人と仕事

- (1) 買い物調べ 8
- (2) 店の人の工夫 10
- (3) 品物はどこから 13

3 農家の仕事

- (1) 米づくりの仕事 14
- (2) くだものづくりの仕事 17

4 工場で働く人と仕事

- (1) 加茂市の工場 20
- (2) 家電製品をつくる工場 21
- (3) そのほかの工場 24
- (4) 桐たんすをつくる工場 26

5 火事からまちを守る

- (1) おそろしい火事 32
- (2) 消火のためのし設や設備 32
- (3) 火事が起こったら 33
- (4) 消防署の見学 34
- (5) 消防団の活動 35
- (6) 安全を守る取り組み 35
- (7) 救急の仕事 37

6 事故や事件からまちを守る

- (1) 加茂市の交通事故 38
- (2) 110番のしくみ 38
- (3) 安全を守るために 40

7 加茂市の歩み

- (1) かわる道具とくらし 42
- (2) 市のうつりかわり 44
- (3) 昔と今のまちなみ 45
- (4) 加茂市の主な施設 46

8 ごみはどこへ

- (1) 昔のごみ処理の仕方 48
- (2) ごみの収集のうつりかわり 49
- (3) 今、ごみとどのように関わっているのか? 50
- (4) 集めたごみはどこへ? 51
- (5) 清掃センターからごみはどこへ? 53
- (6) ごみを減らす工夫 55

9 水はどこから

- (1) 水の使われ方 56
- (2) 加茂市の水道 57
- (3) 水がとどこまで 58
- (4) 使われた水のゆくえ 60

10 自然災害にそなえるまちづくり

- (1) 1969（昭和44）年の大水害 62
- (2) 加茂川と下条川の改修工事 63
- (3) 2011（平成23）年の7.29水害 65
- (4) 加茂市防災担当の人の話 66
- (5) 加茂市総合防災訓練・防災フェア 67
- (6) かも防災出前講座 68
- (7) 加茂市洪水ハザードマップ 69
- (8) 地域の防災倉庫 69

〈参考資料〉

- 資料1 まちに残る祭り 70
- 資料2 加茂市の文化財 72
- 資料3 加茂市の発展 78
- 資料4 年表 加茂市の主なできごと 79

- 調べてみよう 84
- 加茂市地図 85
- あとがき 87

かもし みんなけんしょう
加茂市民憲章

ゆたかな自然を大切に
住みよいまちをつくりま
す

強いからだと心をきたえ
明るく笑顔で暮らしま
す

やすらぎのある家庭をつ
くり

みんなの夢を育てま
す

いたわりと思いやりの心
で

ふれあいの輪をひろげ
ま
す

みんなで考え 力をあ
わ
せ

のびゆくまちを築きま
す

1 わたしたちのまちと市

(1) 学校のまわりの様子

○学校の屋上から四方位（東西南北）の様子を見てみましょう。
 どんな風景が見えるだろう。

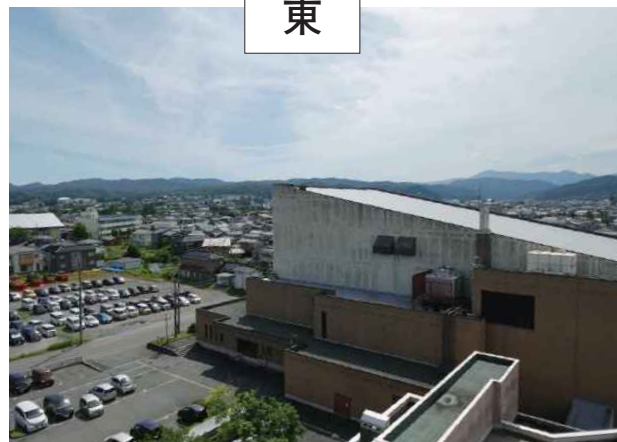
北



西



東



南

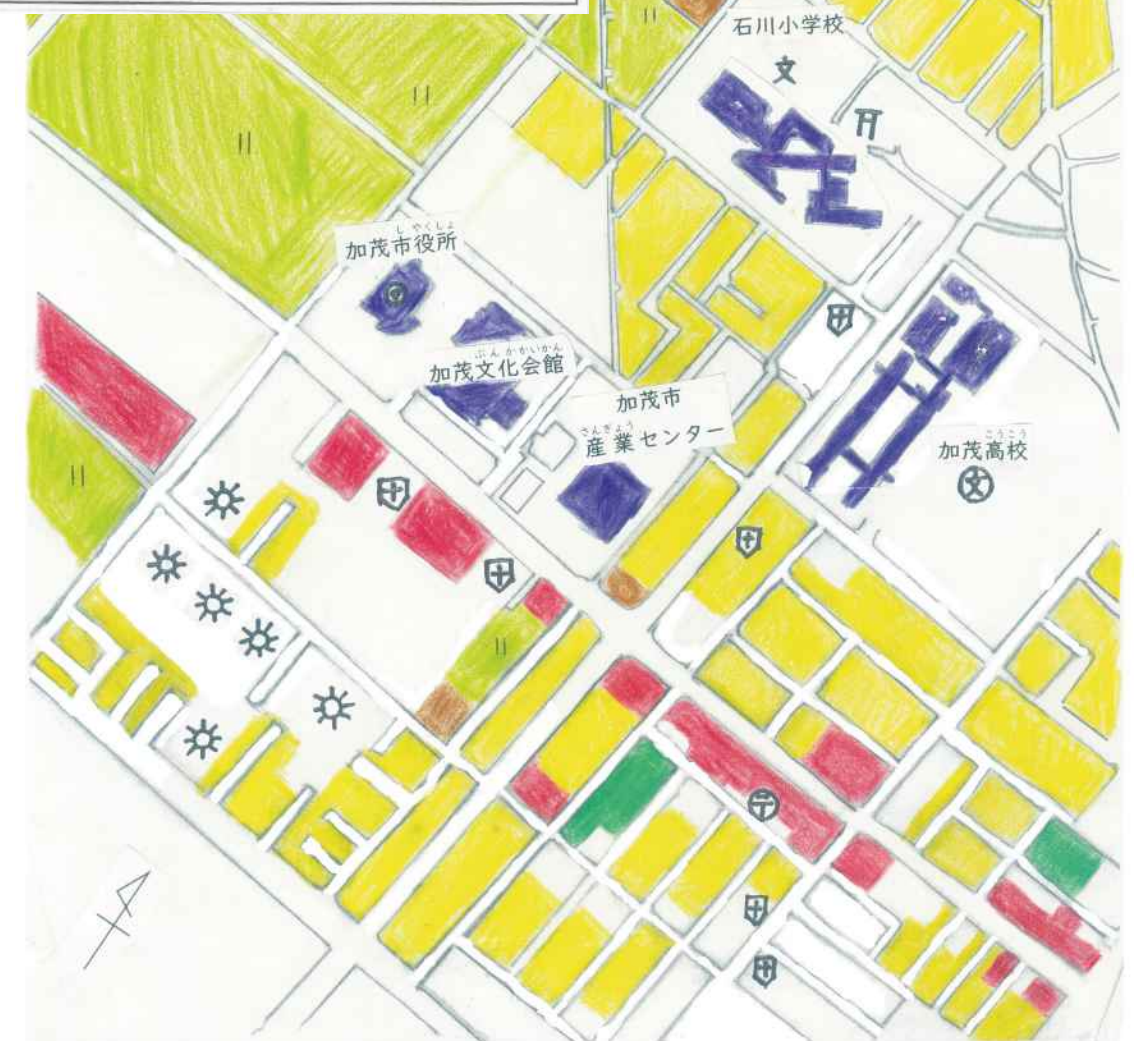


○学校のまわりにはどのような場所があって、どのような様子なのだろう。探検して、まちの地図をつくろう。

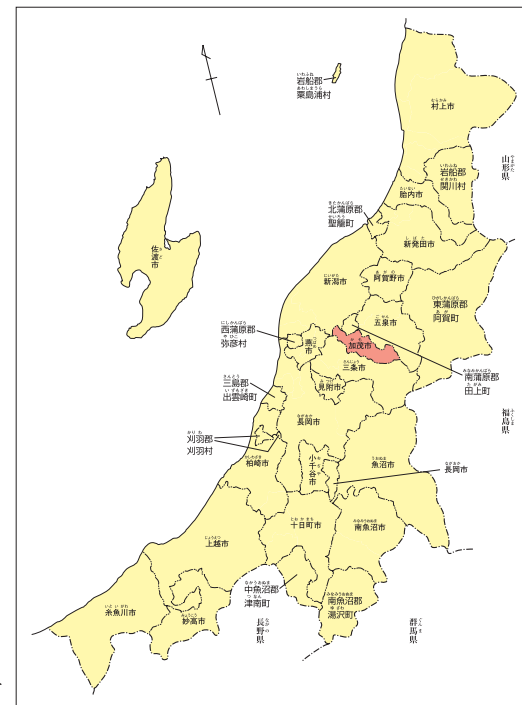
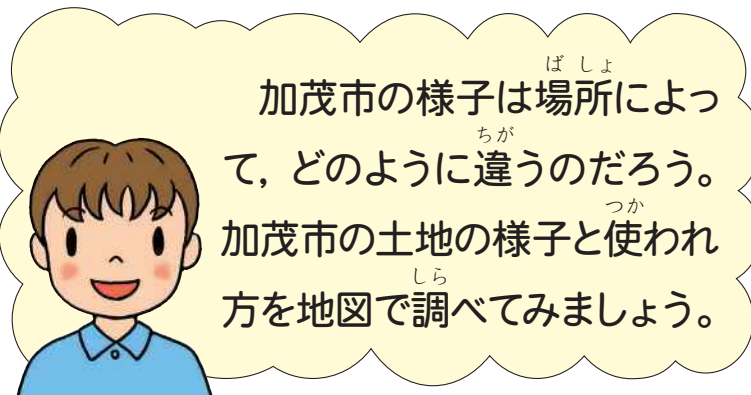
市役所を中心にしたまちの地図

使った地図記号や色

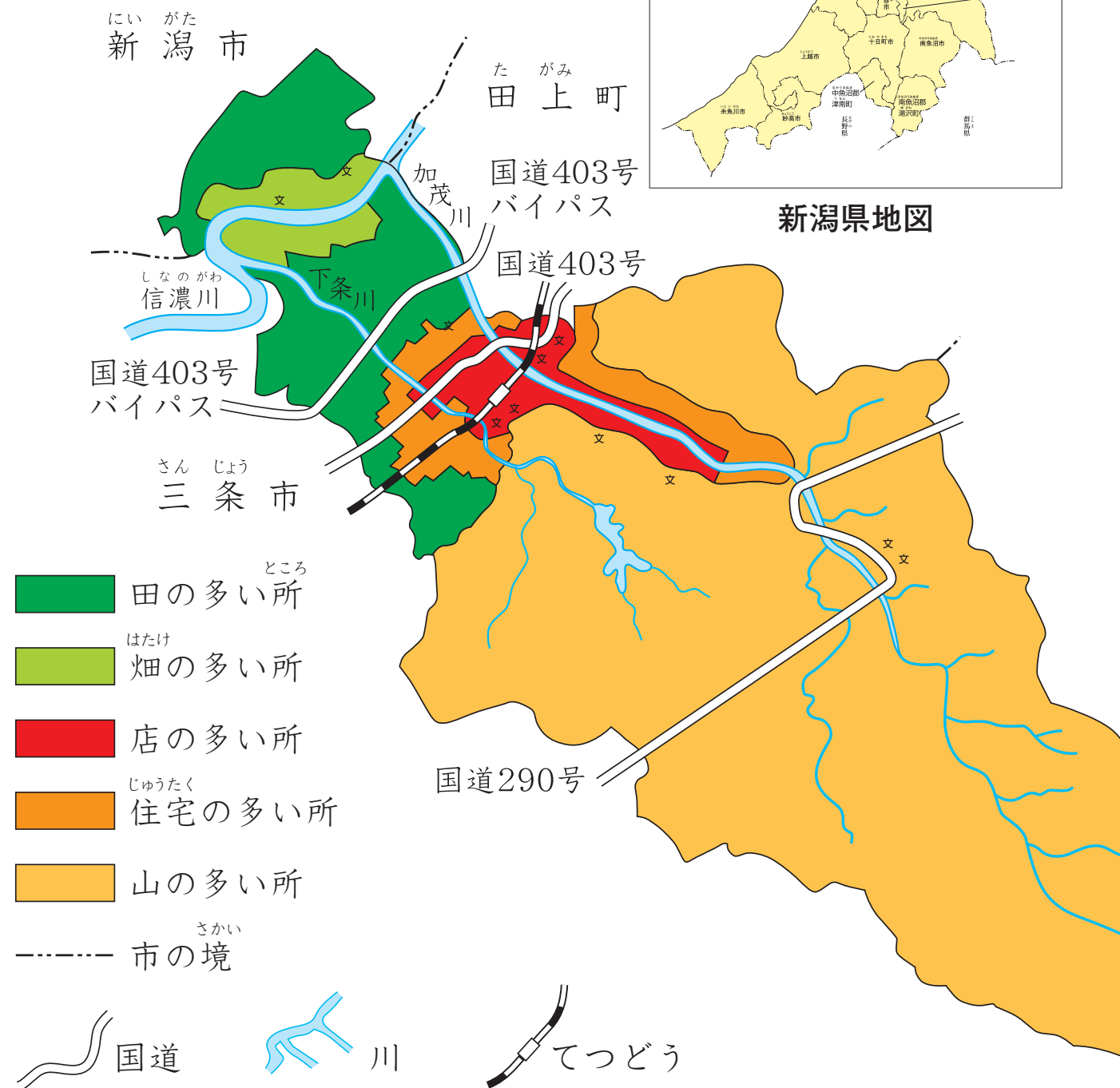
小・中学校	☆	田	■
高等学校	⊗	畑	■
市役所	◎	住宅の多い所	■
郵便局	〒	店の多い所	■
びょういん	⊕	公園	■
病院	⊕		
工場	⚙		
神社	⛩		
老人ホーム	⋈		



(2) 加茂市の^{ぜんたい}全体の様子



新潟県地図



店の多い所の様子



畑の多い所の様子



山の多い所の様子

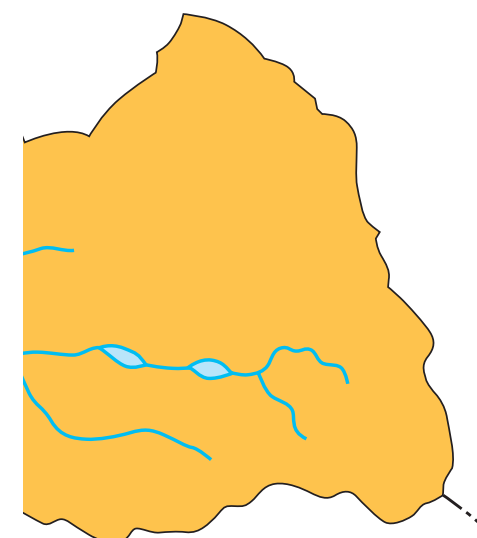


田の多い所の様子



住宅の多い所の様子

五 泉 市



めんせき 面積 133.68km²
しゅうい 周囲 75.80km
東西 17.08km
南北 7.76km



2 店で働く人と仕事

(1) 買い物調べ

○わたしたちは、どのような店で買い物をしているのでしょうか。



わたしたちの市には、専門店、スーパーマーケット、飲食店など、いろいろな店があります。加茂市には古くからの店もあれば、新しくできた店もあり、店が増えている地域もあります。

わたしたちの家で、毎日の生活に使うものをどこで手に入れているのでしょうか。また、店の仕事や、商店街の様子についても調べてみましょう。

①わたしの家の買い物調べ

調べたことを買い物調べカードにまとめましょう。

れい 【例】 (9) 月 (1) 日 (日) 曜日				
買い物に行った店	肉屋	やおや	米屋	ドラッグストア
買った品物	ぶた肉 とり肉	にんじん じゃがいも	お米	せんざい 歯ブラシ
店に行った理由	・いろいろな肉があるから。 ・おまけをしてくれるから。	・おいしい野菜の見分け方を教えてくれるから。	・買ったお米を精米もしてくれるから。	・たくさん種類があるから。

②みんなの家の買い物調べ

みんなが行った店をまとめましょう。

店の名前	買い物をした人数
(例) スーパーマーケット	正 正 正 正

③買い物調べのまとめ

買い物調べをして気づいたことを書きましょう。

④みんなが買い物に行く店のひみつ

自分がよく行く店や買い物をした人数が多かった店には、どのようなよさやひみつがあるのでしょうか。よさやひみつを予想しましょう。



しなものなら
 品物の並べ方には、ひみつがあるのかな。



(2) 店の人の工夫

○店では、たくさんのお客さんから買い物に来てもらうために、どのような工夫をしているのでしょうか。



①スーパーマーケットの工夫



広い駐車場



車いすも通ることができる広い通路



案内板



たくさんの品ぞろえ

スーパーマーケットの人の話

お客さんが、気持ちよく買い物ができるように、だれにでも利用しやすい安心なお店づくりを心がけています。そのために、品物の新せんにこだわったり、すぐに見てわかる表示をつけたりしています。これからもお客さんが商品を買いたくなる工夫を考えていきます。

②商店街の工夫

加茂駅前から続く商店街には、たくさんのお店がならんでいて、加茂市の商業の中心になっています。



菓子店



衣服店



電気店



家具店

商店街では、たくさんのお客さんから買い物に来てもらうために、楽しいイベントを行ったり、たいへんな仕事は協力し合ったり、さまざまな工夫をしています。

商店街の人の話

商売をするときに、一番心がけていることはお客さんから信頼される仕事をする事です。信頼される店には、自然とお客さんが集まってきます。そのために、商品を早く届けたり、商品をくわしく説明したり、いつもお客さんがよろこぶことは何かを考えています。近所の店だからこそできるサービスを一生懸命しています。

加茂市商店街協同組合

駅前商店街、穀町商店街、本町商店街、仲町商店街、上町商店街、五番町商店街、新町商店街、若宮商店街、新生商店街でつくられている組合です。

ひとつの店では行うことがむずかしいことも、たくさんの店が協力することでできるようになります。

商店街（約2km）を楽しく歩き、買い物をしてもらう工夫

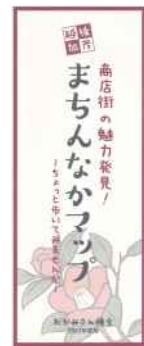
- ・道路を歩行者天国にした秋のイベント
- ・「雪椿スタンプ（ポイント券）」・共通商品券
- ・商店街歩きのガイドマップ「まちななかマップ」
- ・季節に合わせた手作りの飾り
- ・駅からの歩数が表示された「百歩標」
- ・身だしなみを整える「長生き鏡」
- ・小路の名前の由来が書かれた「由来札」



大通り秋祭り



共通商品券



商店街歩きのガイドマップ



季節に合わせた手作りの飾り



百歩標



長生き鏡

(3) 品物はどこから

〇店で売られている野さいや果物は、どこでつくられたものでしょう。



スーパーマーケットの野さいや果物売り場には、キャベツ、きゅうり、ジャガイモ、スイカ、ブドウ、メロンなどがならんでいます。品物が入っているダンボールや値札を見ると、つくられた場所や値段が書いてあります。

みなさんも、スーパーマーケットや商店街に来る野さいや果物はどこから来るのか、値札やダンボールの箱を見たり、店の人に聞いたり、ラベルを集めたりして、調べてみましょう。

また、野さいや果物の他にも、加茂市以外から来ているものはないか、調べてみましょう。そして、加茂市が他の土地とどのように結びついているか、話し合ってみましょう。

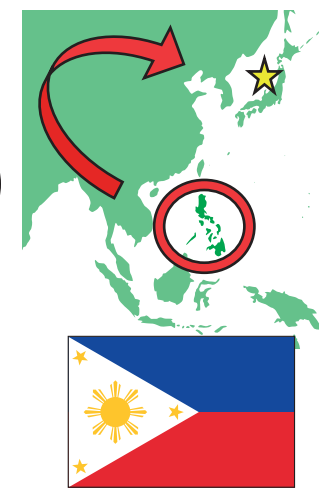


スーパーマーケットのチラシ

ほっかいどう
北海道から
加茂市へ



フィリピンから
加茂市へ



フィリピンの国旗

3 農家の仕事

○農家の人はどんな工夫をしているのだろう。

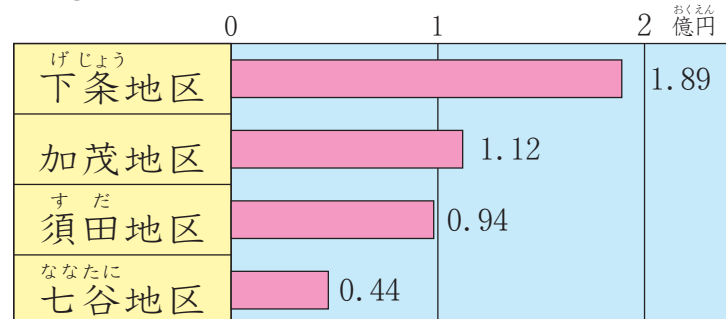
(1) 米づくりの仕事

加茂市では市内の約10%に当たる地域で、米づくりが行われています。つくられている米の種類は、主に「コシヒカリ」や「こしいぶき」、「しんのすけ」といった主食として食べるための米で、他にも酒をつくるための米（越端麗など）や、もちをつくるための米、家ちくのえさにするための米などがつくられています。

また、米づくりをする農家の数は、およそ490世帯で、市全体の世帯数の約5%にあたります。

（数値は、加茂市のすがた（令和5年度の数値）より）

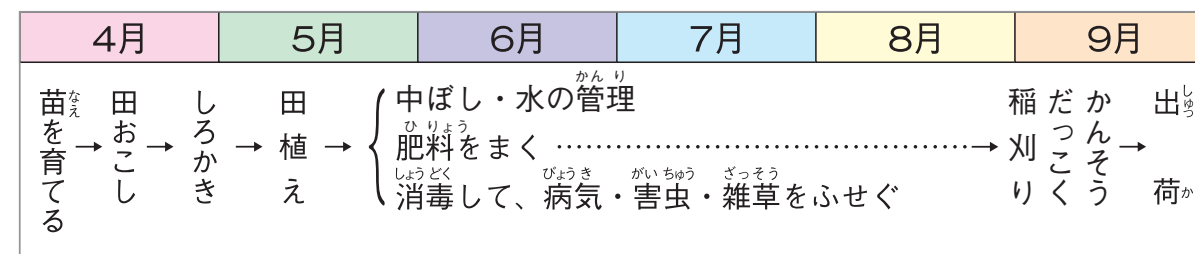
①米の出荷販売額（令和5年産米 JAえちご中越調べ）



下条地区（芝野）にある中沢遺跡からは、約1,800年前の弥生時代に使われていた土器がみつかります。この発見により、その当時から、この地域で、米づくりが行われていたと考えられています。



②米づくりの仕事ごよみ



③米づくりの様子



苗づくり

（ビニールハウスの中で苗を育てます。）



しろかき

（水をはって土をかきまぜ平らにします。）



田植え

（田んぼに苗を植えていきます。）



稲刈り・脱穀

（稲を刈り、先のもみだけ取って乾燥します。）



粳（もみ）



玄米（げんまい）



白米（はくまい）



④米をつくる農家の人の話

私のおじいさんのころの米づくりは、すべてを手作業で行っていたので、たくさんの人手や時間がかかって、とてもたいへんだったそうです。

今は、機械を使うことが多くなったので、昔とくらべれば楽になったと思います。それでも、人手が不足することがあったり、悪天候が続くことがあったりと、苦労することはたくさんあります。

また、昔とくらべてお米の質がよくなって種類も増えたので、お米を買ってくれる人も、より美味しいお米をほしがるようになりました。そのため、田植えや稲刈りの時期、肥料や農薬をまく時期、水の管理など、いろいろなことに気を配って、美味しいお米をつくる努力をしています。

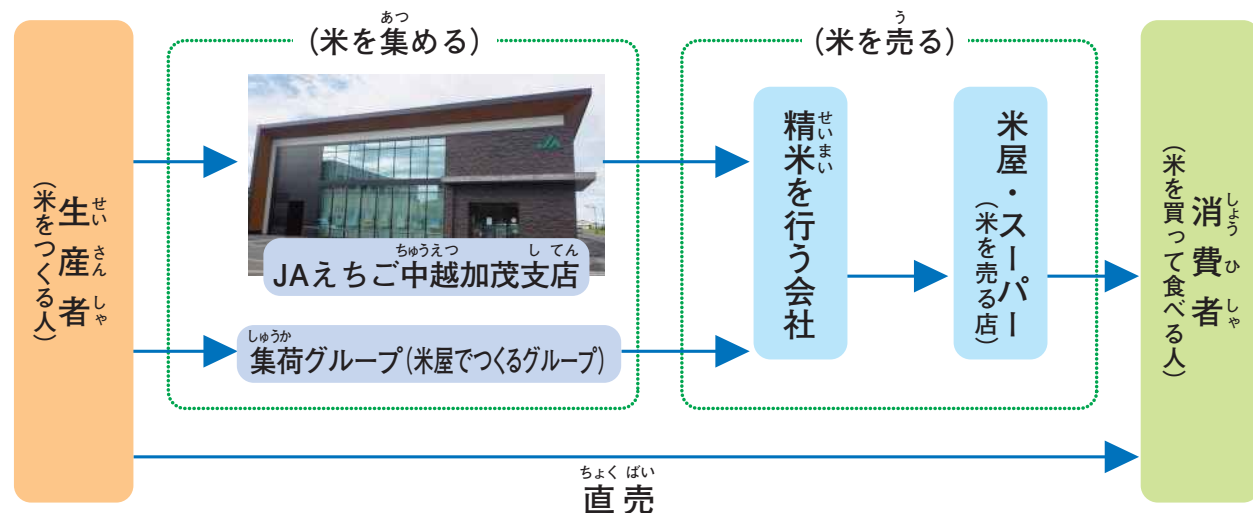
最近では、何軒かの農家が組合をつくって共同で米づくりをする所もあります。共同で農作業のための機械や肥料を買ったり、共同で農作業をしたりして、苦労を減らす工夫をしています。



農家の人は多くの手間や、時間をかけて美味しいお米をつくる努力をしているのね。



⑤稲刈り後の米が消費者に届くまで



〇くだものづくりには、どのような工夫があるのだろう。

(2) くだものづくりの仕事

加茂市の須田地区、川西地区、山島地区は、県内でもくだものづくりが盛んな地域として知られており、毎年、なし、もも、ぶどうといったくだものがたくさんつくられています。

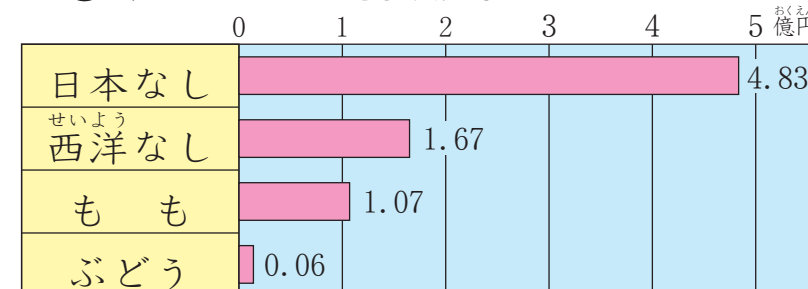
この地域でくだものづくりが始まったのは、今から150年くらい前の明治時代のことです。それは、この辺りの土地には、信濃川の上流から栄養を多くふくんだ土や砂が運ばれてきており、くだものづくりにあった土地だったからです。

JAを通してくだものを出荷する農家の数は、およそ200世帯あります。
(数値は、JAえちご中越調べ)

①くだものづくりの盛んな地域



②くだもの出荷販売額 (令和5年度 JAえちご中越調べ)



③ 梨づくりの仕事ごよみ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梨(幸水)づくり	えだの実がつきやすくなるよう、えだの一部を切る	えだをたなにつける	花粉づけ よぶんなつぼみを つま取る	花のこしてつみ取る 花のこしてつみ取る	ふくろがけ	水やり	とり入れ				えだの実がつきやすくなるよう、えだの一部を切る	
			草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り
			防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)	防除 (月に3・4回)



④ 梨づくり農家の人の話

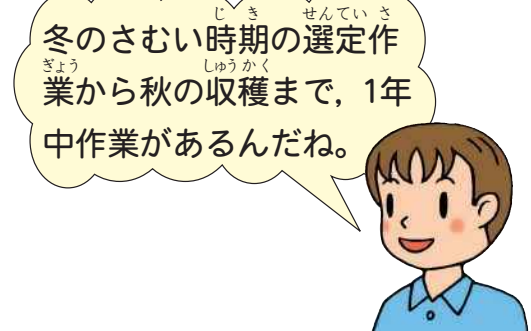
梨づくりは、花粉づけやふくろがけなど、ひとつひとつの手で
する仕事が多いので、とても手間がかかります。

花粉づけは、天気のよい日に行う作業ですが、2～3日のうちに
全部終わらせなくてはなりません。そのため、大勢の人に手伝って
もらいます。

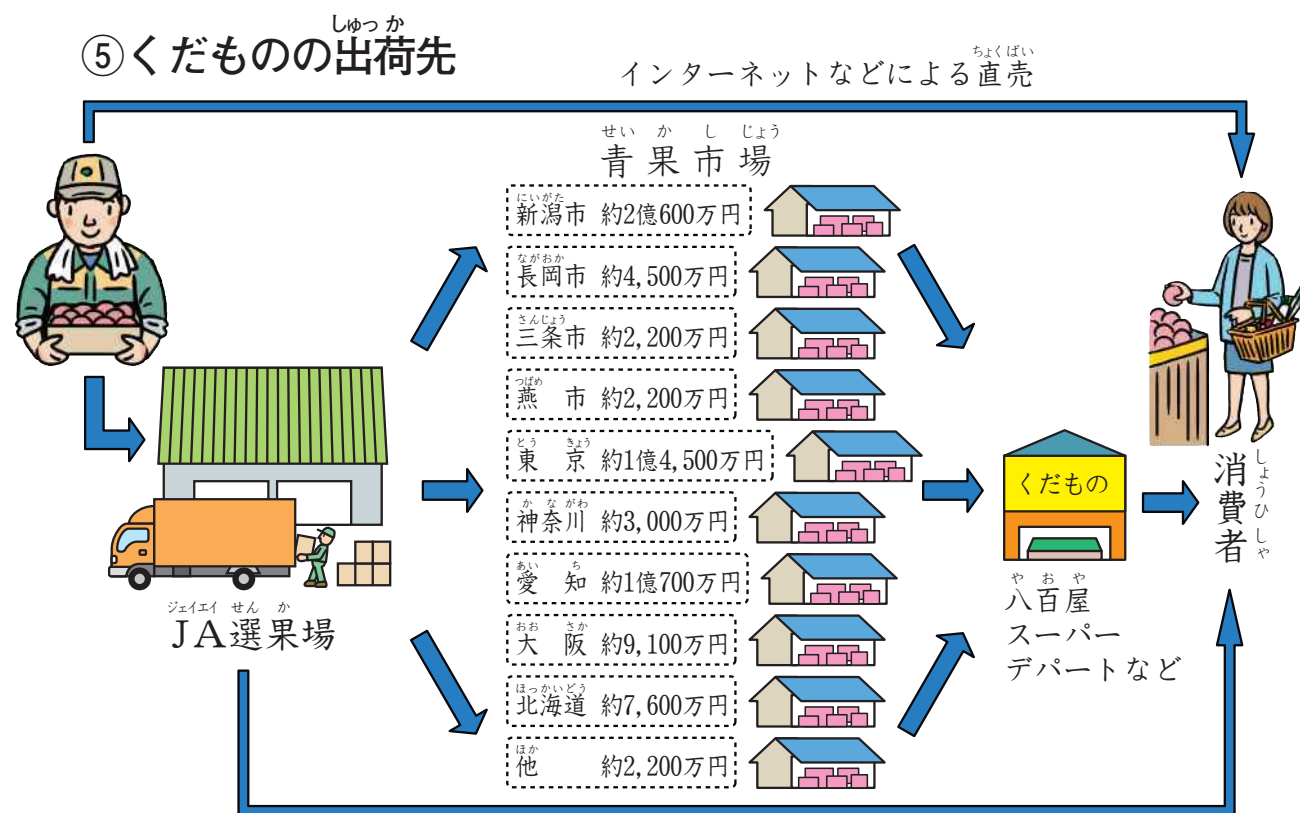
ふくろがけは、梨を虫や病気から守るために、ひとつひとつ実に
ふくろをかけていきます。この作業もとてもたいへんです。

せっかくなつた梨が秋の台風で落ちてしまうこともあります。
落ちて傷ついた梨は、商品にできなくなるので、台風が近づくとど
ても心配になります。

このように苦勞の多い仕事ですが、
みなさんから、美味しい梨を食べても
らうために、もっとよい工夫がないか
考えたり、専門家と相談しながら品種
改良などの研究をしたりしています。



⑤ くだものの出荷先



須田選果場 (JAえちご中越)

(令和5年度 JAえちご中越調べ)

農家でつくられたくだものの多くは、須田地区にある選果場に運
ばれてきます。ここでは人の目や機械で、くだものの大きさや形、
甘さなどを調べて、できぐあいの良さで仕分けられた後、市場など
に出荷されます。多い時には、1日に約4500箱も出荷されます。

個々の農家だけではむずかしいことも、選果場に集めて作業する
ことで、効率よく行うことができ、それにより農家の負担を減らす
ことができます。

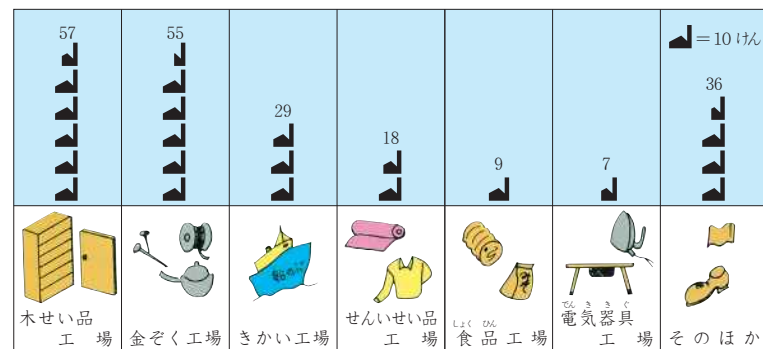


4 工場^{はたら}で働く人^しと仕事^{こと}

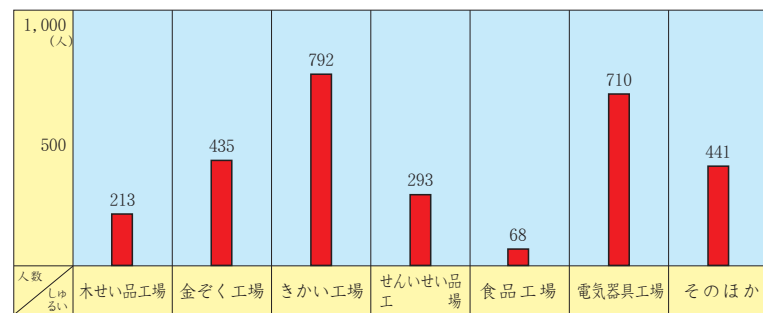
- 加茂市には、どのような工場があるでしょう。
- どのくらいの人^{ひと}が働^{はたら}いているのでしょうか。

(1) 加茂市の工場

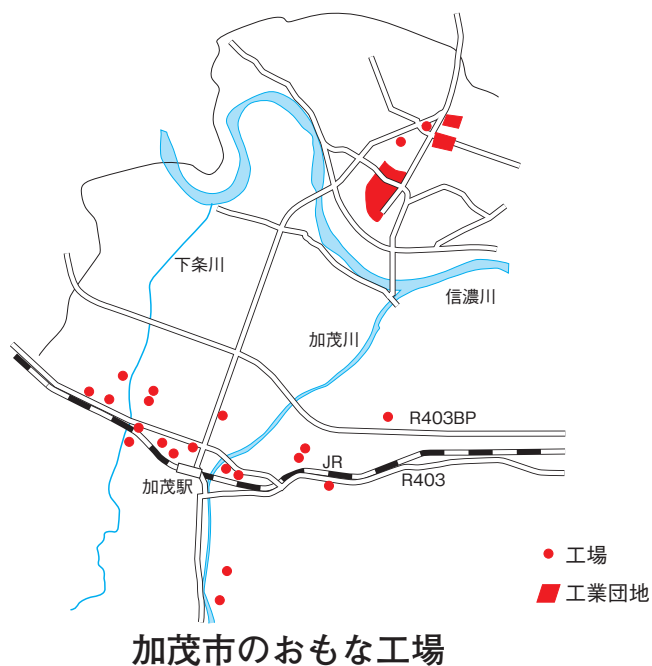
工場^{こうじょう}の数^{かず}（個人事業所^{こじんじぎょうしょ}を含む^{ふくむ}）



はたらく人^{ひと}の数



（令和3年^{けいざい} 経済センサス^{かつどうちようさ} 活動調査）



加茂市には、木製品の工場をはじめ、金属や機械、電気器具など、200をこえるたくさんの工場があります。

そうした工場では、約3000人もの人たちが働いています。

工場は、市内各地にあります^{かくち}が、1970（昭和45）年に須田地区に工業団地^{しやうわ}が完成し、たくさんの工場がうつってきました。

多くの工場が集まることで、加茂市の工業がさらに盛んになりました。

(2) 家電製品^{かでんせいひん}をつくる工場

- すい飯器^{はんき}は、どのようにしてできるのでしょうか。
- 工場では、良い製品をつくるためにどのような工夫^{くふう}をしているのでしょうか。

須田地区にある東芝ホームテクノの工場は、加茂市にある工場の中でも、とくに働いている人が多い工場です。約500人^{やく}の人^{ひと}が働いています。

実際に部品^{ぶひん}をつくったり、組み立てたりする人が150人、どんな製品が売れそうなのかを調べ、新しいすい飯器を開発したり、つくるための原料^{げんりやう}を調達^{ちやうたつ}したりする人、その他のさまざまな仕事^{ほか}をしている人たちを合わせてさらに350人います。

働いている人たちは、加茂市内だけでなく、三条市や長岡市、新潟市など、はなれたところからも通ってきています。

工場のショールーム（製品の見本を見せる場所）には、この工場でつくられているたくさんの種類のすい飯器がならんでいます。機能だけでなく形や色もいろいろです。中には、外国向けの製品もあります。

では、この工場の人たちはどのようにして、すい飯器をつくっているのでしょうか。

① 部品をつくる

金属の板^{きんぞく}をプレス機^{いた}に何度もかけて部品をつくりま^きす。約400トンの力で金属の板をプレスしていろいろな形の部品をつくりま^{なんど}す。



ショールームにならぶすい飯器



金属の板の形を変えるプレス機



アルミニウムの地金



溶かした材料を金型に流しこむ

部品は、プレスだけでなく、アルミやプラスチックの原料を溶かして、それらを金型に流しこむ方法でもつくられます。

②部品の組み立て

この工場の中でつくられた部品と国内の他の工場や海外の工場で作られた部品は、すべて生産ラインに集められます。多くの人が手分けをして、ベルトコンベアを使い効率的に組み立てます。



内釜を塗装し、文字を入れて仕上げる



ベルトコンベアの上を流れる製品



大勢の人が手分けをして組み立てる

③製品の検査と出荷

最後に、出荷する製品の中からきめられた数をぬきとって、こわれた製品がまじっていないか、くわしく検査します。

合格した製品は、全国各地の家電量販店などに出荷されます。



検査される製品

④すい飯器以外の部品の生産

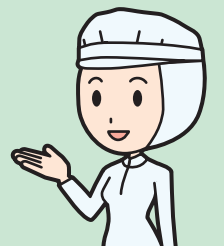
この工場では、すい飯器を生産するだけでなく、すぐれた技術を生かして、石油ファンヒーター用ファンヒーターの部品のモーターをつくり、三条市や新潟市の会社に出荷しています。



組み立てを担当する人の話

すい飯器が完成するまでには、いろいろな仕事があります。コンベアの流れに合わせてすばやく正確に部品を組み付ける必要があります。さらに、人の手では難しい作業では、機械やロボットを使っています。

すい飯器を組み立てるわたしたちの服装を見てください。食品をつくる人のように白の作業着です。それは、清潔な製品づくりに気をつけて作業をしているからです。



製品の開発を担当する人の話

すい飯器はどんなお米や水でも、おいしくたけることが一番たいせつです。そのために他の会社の良いところを調べたり、どんな機能が必要か、形や色はどうするかを考えたりします。さらに購入されたお客さんにアンケートを取り、意見を聞くこともあります。

これからは、すい飯器も「スマート家電」といって、アプリを使ってたき分けたり、えんかく操作ができたりするなど、新しい技術をどんどん取り入れた製品づくりを目指しています。



(3) そのほかの工場

船や鉄道車両のギア（歯車）などをつくる工場

下条地区（福島）にある日立ニコトランスミッションの工場では、船や鉄道車両、建設機械などに使われるギア（歯車）などをつくっています。

ギアは動力（エンジンやモーターの力）をプロペラや車輪につたえるための機械で、船や鉄道車両などをスムーズに動かすためにとても大切です。



工場で作られたギアで力強く走る列車



目的にあわせて作られるギア

紳士用の靴をつくる工場

須田工業団地にあるチヨダシューズ工場では、紳士（大人の男性）用の靴をつくっています。靴ができるまでにはいくつもの作業があり、その多くが手作業で行われています。工場で作られた靴は全国の大きなデパートや靴屋などで売られています。



たくさんの靴がならぶ工場の様子



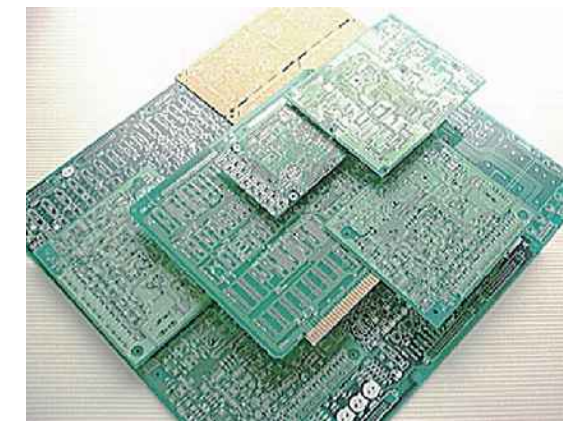
靴をつくっている様子



材料から靴の型を取る様子

電子回路の基板をつくる工場

高須町にあるアスコテックの工場では、航空機や自動車、パソコンやテレビなど、電気を必要とする機器に使われる部品（電子回路基板）をつくっています。電気を必要とする機器の中には、人がスイッチなどを操作して機器に出した命令を電気信号に変えて、機器を動かすための部品に伝えているものがあります。電子回路基板は、電気信号（命令）の通り道となる部品で機器を正しく動かすためにとても大切です。



目的により大きさがちがう基板



基板をつくっている様子



製品をチェックする様子

(4) きり 桐たんすをつくる工場

○桐たんすは、どのようにつくられるでしょう。

○桐たんすのすぐれているところは何でしょう。

加茂で桐たんすがつくられるようになったのは、およそ200年前といわれています。材料となる桐の木が、近くの山にたくさんあったため、盛んにつくられるようになりました。

加茂地区の桐たんす店や工場は、加茂市内だけでなく、となりの田上町や三条市の保内地区にもあります。

工場は以前まちの中でしたが、機械による作業が多くなるにつれて、騒音の問題も起こるようになり、1970（昭和45）年に須田工業団地が完成すると、そちらに移転する工場も出てきました。

現在、日本全国の約70%の桐たんすが加茂でつくられていて、桐たんすと言えば「加茂」と言われるほど、桐たんすをつくる技術と優れた品質が、とても評判になっています。



品質のよい桐たんす



桐の木

近年では、しっ気を防ぎ、くるいが少なく火にも強い桐材の特長をいかした桐製の家具や、結ろしない木製の「加茂サッシ」などの製品づくりも盛んに行われています。

（※結ろ…外が寒いとき、温かい家の中の窓に水滴が付く現象）



いろいろな桐製家具



結ろに強い「加茂サッシ」

① 桐たんすができるまで



① げんぼく 原木（桐の木）

日本各地に桐たんすの産地はありますが、原木から製材する工場があつまるのは加茂市だけです。



② せいざい 製材

原木を板状に切ります。
原木に合わせて、材料となる板をつくっていくので、精密で美しい桐たんすができます。



③ 板干し (渋ぬき)

板状に切ったものを、やく3年間天然かんそうさせます。

天日や風雨にさらすことで色の変化やくるいがなくなります。



④ 木取り

ベテランの職人が、板をどの場所に使うかを考え、木目や色などに気をくばりながら、板を組み合わせていきます。



⑤ 蟻ほぞ取り

板と板を強くつなげるため、クサビ状にけずります。



⑥ 枠組み

たんす本体の組み立ては、木のくぎなどを使ってがんじょうにつくられます。



⑦ 引き出し前板仕込み

引き出しは、外の枠より大きめに作り、すき間ができないように少しずつつけていきます。



⑧ かながけ

たんすの表面をきれいに仕上げるため、何回もかなをかけます。



⑨ うづくりかけ

専用の道具で表面をこすり、木目（柁目）がきれいに見えるようにします。



⑩ 塗装

塗装して自然かんそうした後、木目にそってロウをかけて磨きます。



⑪ ^{かなぐつ}金具付け
^{じょうまえ ひきて ちょうばん}錠前，引手金具，蝶番などが
^{しんちょう と}慎重に取り付けられて，ようや
^{きり かんせい}く桐たんすが完成します。



^{かんせい}完成した桐たんすは，遠くは
^{ほっかいどう きゅうしゅう ぜんこくかくち}北海道や九州など，全国各地に
^{はいたつ}配達されています。

②桐たんす工場の人話

加茂の桐たんすは，^{て さぎょう}手作業による高い技術が認めら
 れて，1976（昭和51）年，「^{でんとうてきこうげいひん}伝統的工芸品」の指定
 を受けました。加茂にはこうした職人が数多くいま
 す。その中でも特に優れた技術と知識を持った人たちは，「^{しよくにん}伝統
 工芸士」と呼ばれています。ですが，新しく職人になろうという
 人が減ってきていることは心配です。



それと，^{さいきん}最近では国内で桐のよい材料が減ってきたため，品質
 のよいものを求めて，アメリカや中国から輸入しています。貴
 重な材料をむだにしないように，木の取り方や木目の合わせ方
 も工夫しています。

これからも桐たんすをもっと多くの人たちに使ってもらえる
 ように，お客さんがよろこんでくれる形や色を研究しています。

③桐たんすのすぐれているところ

桐たんすの材料となる桐の板は，^{ざいりょう}やわらかい木材で細かな作業を
 するのに適しています。さらに，^{へんけい}ゆがみや変形も少ない材質です。
 そうした桐の板からつくられる桐たんすはどのようなすぐれた点がある
 のでしょうか。

○しっ気に強い

雨が降って湿度が上がると，引き出しの開閉がよりきつくなり，し
 っ気をそれ以上たんすの内部に入れなくなります。逆に天気が
 よくなるとしっ気が自然と蒸発することによって，元のようにスー
 ズに開閉できるようになります。

このように，しめった空気には，桐たんす自体がふくらんで外から
 の湿気を防ぎ，反対に空気がかんそうするとしっ気を出して縮みます。
 こうして大切な着物を長期間にわたり，保管することができるのです。

○火に強い

桐たんすは，火がつきにくく，さらに水にも強いため，火災の場合
 でも燃え広がりが遅いといわれています。すき間が少なくてさらに水
 を含みやすいので，外側が燃えても中まで火が入らず，「火事にあつて
 も桐たんすの中のものは無事だった」という話があるほどです。

○長持ちする・環境にやさしい

桐材は，ゆがみや変形等が少ないので，長期間にわたり使うことが
 できます。

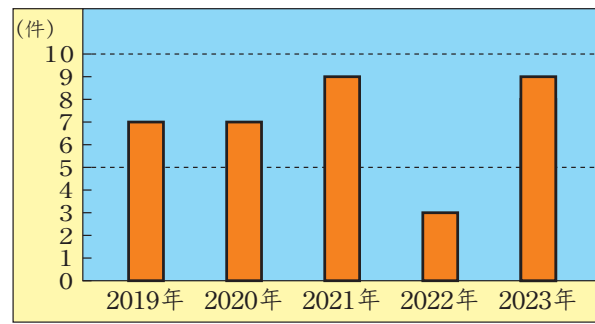
また，桐たんすは，時間がたつと黒ずんできますが，リメイク（洗
 って修理する）を行うことで，再び美しい姿をとり戻すことができま
 す。さらに成長の早い桐は，植えてから15年から25年で材料として使
 うことができ，その際多くの二酸化炭素を吸収するので，環境にも優
 しい家具と言えます。

5 火事からまちを守る

(1) おそろしい火事

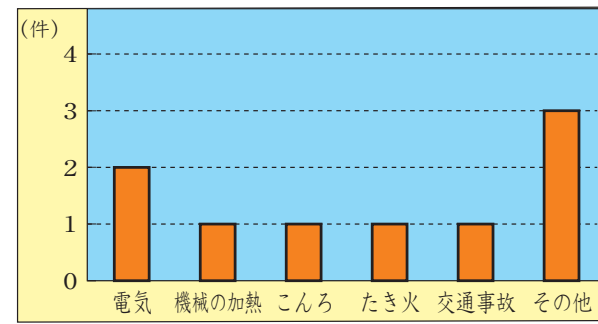
○おそろしい火事はどうして起こるのでしょうか。

火災件数のうつりかわり(2019年～2023年)



(加茂地域消防本部調べ)

火事の原因(2023年)



(加茂地域消防本部調べ)

(2) 消火のためのし設や設備

学校や地域には、消火のためのいろいろなし設などがあります。

<学校>



防火扉



消火器



消火栓



熱感知器



煙感知器



誘導灯

<地域>



防火水槽



消火栓



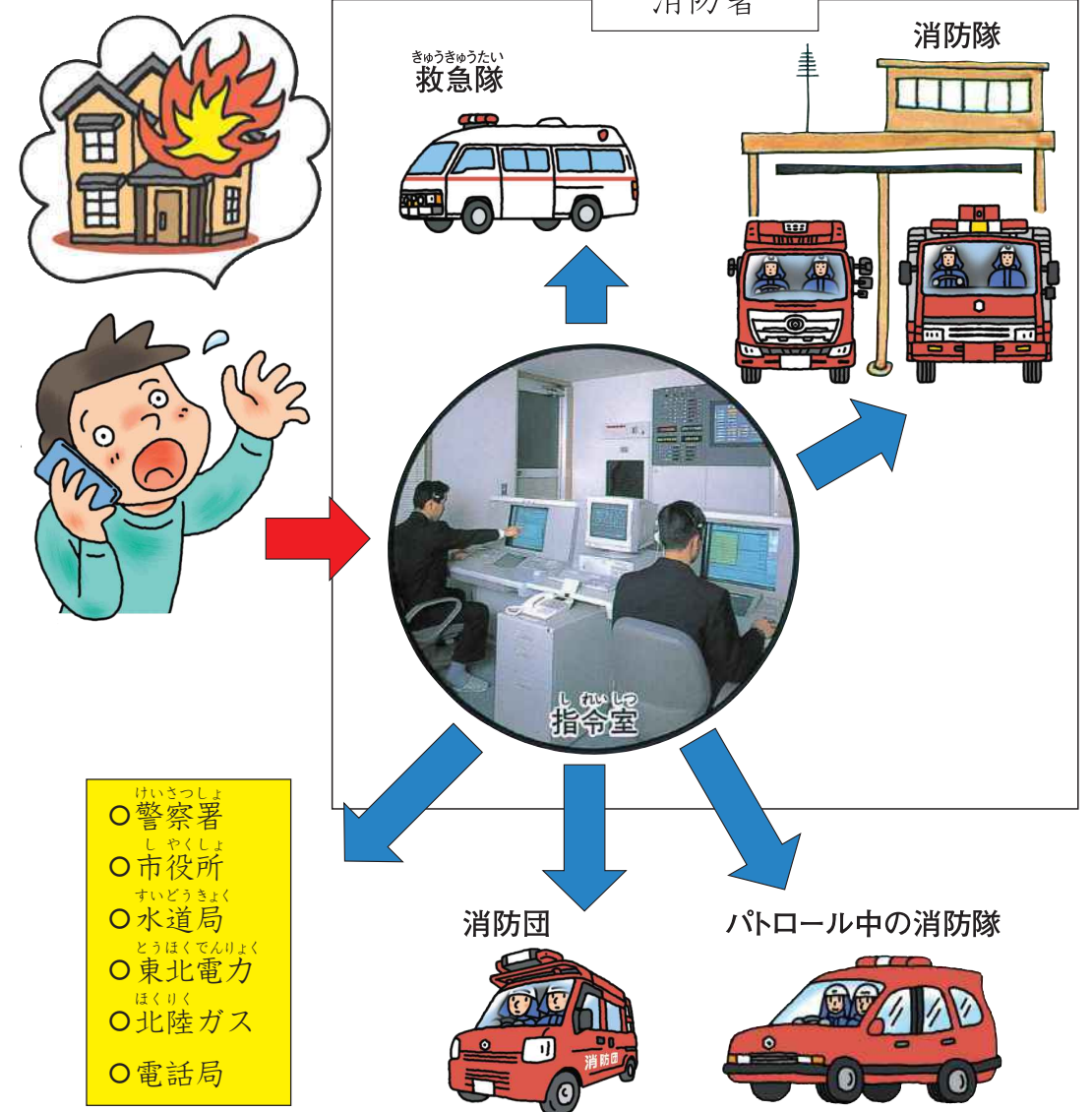
水路(消防用)

(3) 火事が起こったら

火事が起きたときは「119番」へ電話をします。

消防署は119番通報を受けて出動をします。

119番へ電話をすると



火災の消火活動



けが人等を救急車で搬送

(4) 消防署の見学

○消防署では、火事が起きたとき、できるだけ早く火事の現場へ行きます。早く行くためにどんな工夫をしているのでしょうか。

加茂地域消防本部にある車

ポンプ車



タンク車



はしご車



救助工作車



高規格救急車



広報車



指令車



消防署で働く人の仕事の時間割と1日のスケジュール

きんむのしかた

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
A隊(13人)	当番	非番	休み	当番	非番	休み	当番
B隊(13人)	非番	休み	当番	非番	休み	当番	非番
C隊(13人)	休み	当番	非番	休み	当番	非番	休み

当番…24時間消防署にいて、出動にそなえる日。
非番…消防署にはいないが、出動する人手が足りないとき、いつでもかけつける用意をしている日。

○当番、非番、休みが重ならないようにして、どんなときでも必ず出動できるようにしています。

消防隊員のある1日のスケジュール

	時刻	隊員の動き
午前	8:30	出勤・勤務交代 車両点検 打合せ
	10:00	救急講習
午後	0:00	休けい
	1:00	訓練
	5:00	事務処理
	6:00	夕食・休けい
	7:00	打合せ 事務処理
午前	10:00	入浴・仮眠
	5:00	起きる 事務処理
		車両・庁舎清掃
	8:30	勤務交代・退勤

(5) 消防団の活動

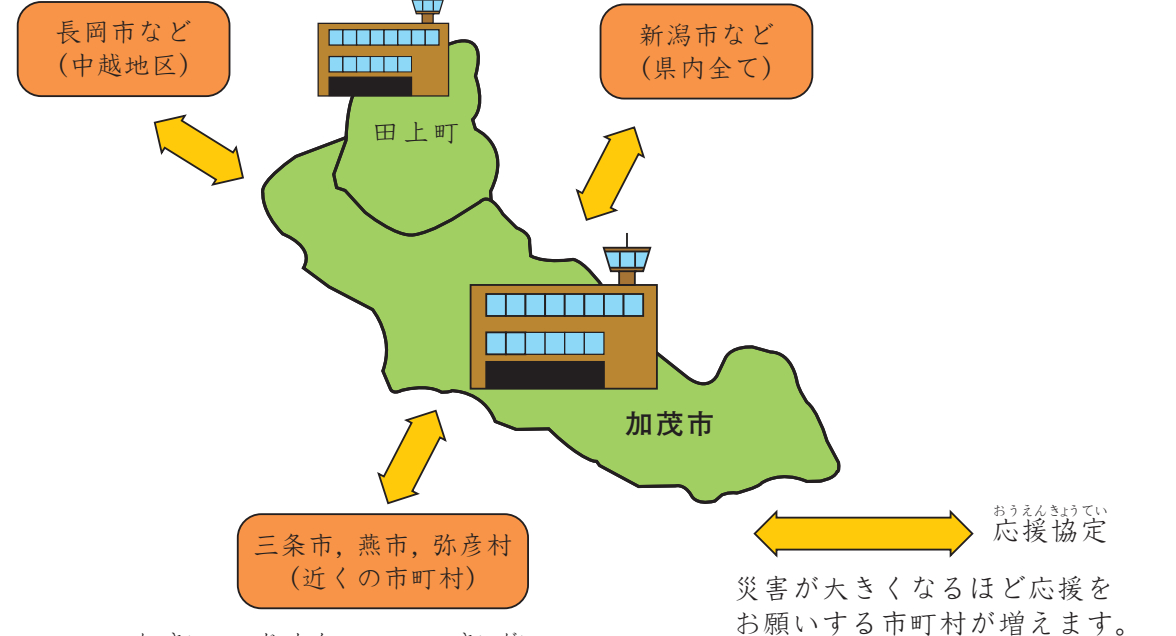
加茂市消防団は7つの分団と女性広報班があります。普段はほかの仕事をしている人が災害時に地域を守るために活動しています。



消防団が使う消防車

第1分団	狭口地区～新町地区	第2分団	五番町地区～矢立地区
第3分団	西加茂地区, 加茂新田地区	第4分団	八幡地区～陣ヶ峰地区
第5分団	下条地区～芝野, 天神林地区	第6分団	七谷地区
第7分団	須田地区		女性広報分団

(6) 安全を守る取り組み



大きな火災や地震などの災害が起こったときのために、新潟県内にある全ての消防本部と、災害時に協力しあう約束（応援協定）をしています。

その他にも、安全な暮らしを守るための取り組みをしています。



ドクターヘリコプターとの救急合同訓練



きゅうじょたいくねん
救助隊訓練



きゅうきゅうほうこうしゅうかい
救急法講習会



でぞめしき ほうすいくねん
出初式の放水訓練



ちいき ぼうか しどう
地域への防火指導

消防署では消防団の他にも防火管理協会，危険物安全協会，少年消防クラブなどと協力し合って火事のない安全なまちづくりにつとめています。

少年消防クラブの活動

- 入団式，修了式
- 防火教室（年2回）
- 全クラブ員参加による合同交かん会
- し設見学などの日帰り研修



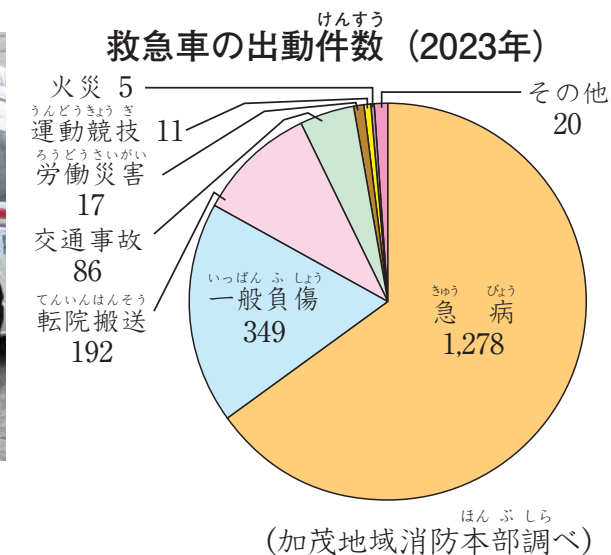
(7) 救急の仕事

急病の時や，交通事故などでけが人が出た時は，すぐ救急車が出動します。2023(令和5)年の救急車の出動は，1,958回でした。1日に約5.4回の出動があったことになります。

また，できるだけ多くの人の命を救うために，車の中で応急処置を行える高規格救急車と救急救命士が配置されています。



高規格救急車と救急救命士による訓練



消防署長さんのお話

火災を防ぎ，人の命や財産を守り，地震や水害，台風のときに被害を少なくするのが消防署の仕事です。そのために各家庭をまわって，火災を出さないように指導したり，会社や工場などを訪問して，消火の設備などがきまりどおりになっているかを確認します。また，消防車や消火栓が，壊れていないか確認したり，火をすばやく消す訓練や，逃げおくれた人や交通事故でけがをした人を助ける訓練をしたりしています。

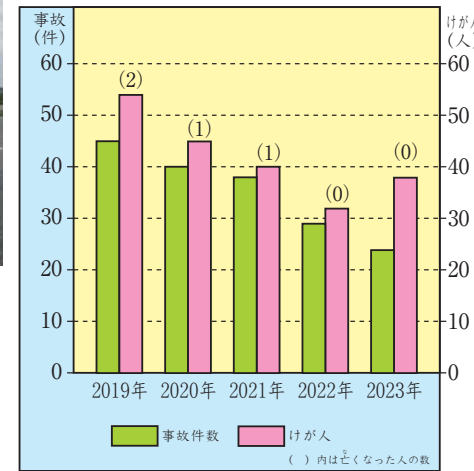
救急の仕事では，病気やけがをした人をすばやく病院へ運んで手当することが大切です。加茂病院にも協力をお願いしているほか，市内の各し設にあるAED（心臓が止まったときに電気を流して救命する機器）の使い方や応急手当の方法をたくさんの人から知ってもらう取り組みも行っています。安全な暮らしを守るために，みんなから，火災への注意や，もしもの時にどうしたらよいかを知っていただきたいと思います。

6 事故や事件からまちを守る

(1) 加茂市の交通事故

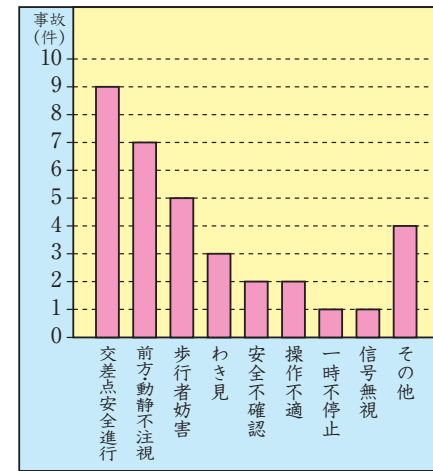


交通事故件数



(加茂警察署調べ)

2023年の交通事故の原因



(加茂警察署調べ)

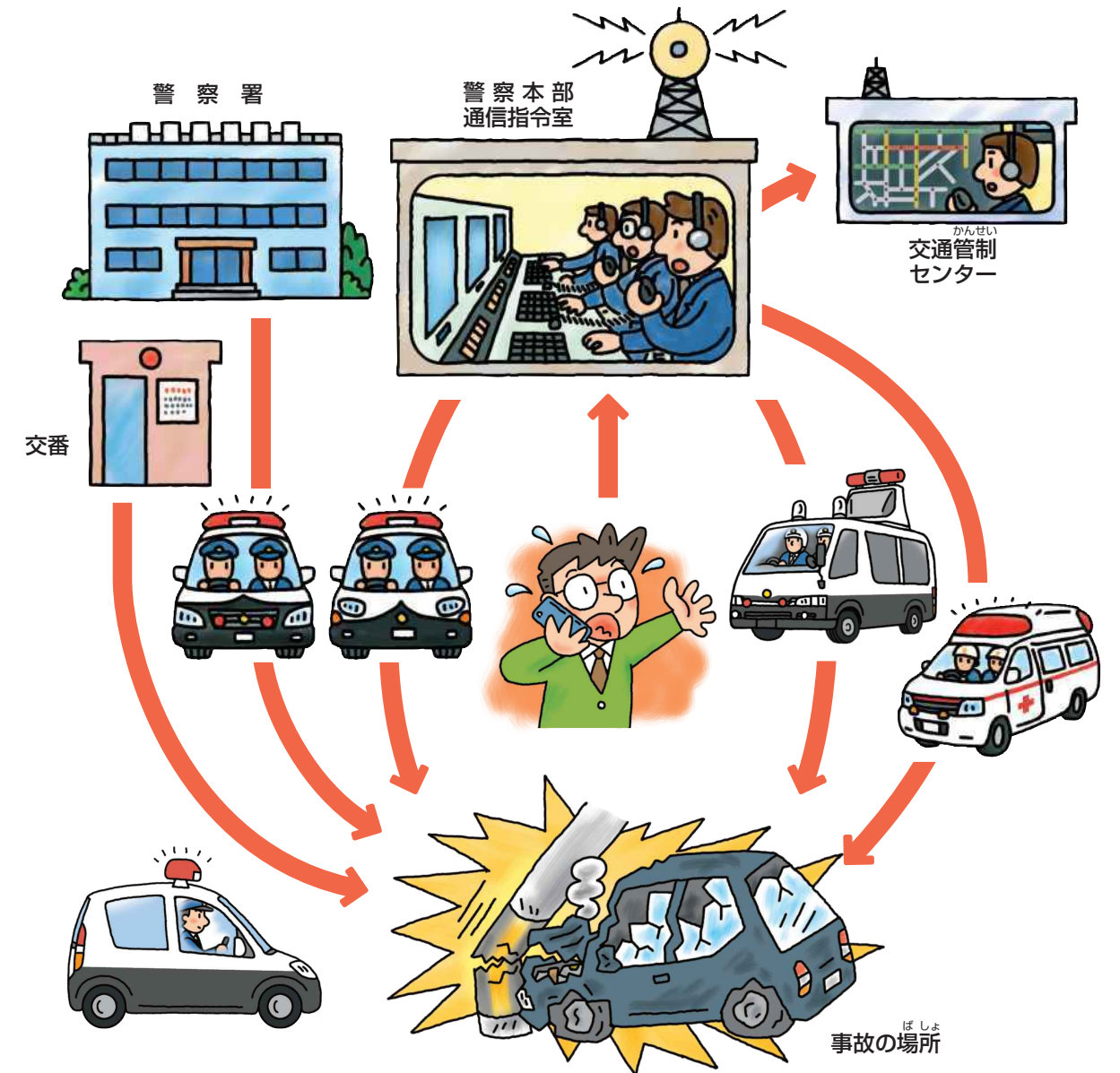
○事故や事件からまちを守るために、どんなことに取り組んだらよいでしょうか。下のわくに書いてみましょう。

(2) 110番のしくみ

交通事故や犯罪が起きて110番通報すると、その通報は警察本部の通信指令室にとどきます。そして通信指令室から無線を使って、各警察署やパトロール中のおまわりさんに出動の指示が伝えられます。無線を使うことで、一度にたくさんのおまわりさんが指示を聞くことができるので、すぐに事故や事件の現場にかけつけることができます。

また、けが人が発生したときは、警察署と消防署が協力して、すばやく救急車を出動できるようにしています。

110番通報後の流れ



①通信指令室



②交通管制センター



(3) ^{あんぜん まも}安全を守るために ^{こうさてん}スクランブル交差点



交通安全教室



カーブミラー ^{どうろ かんり}(道路を管理する市などが設置)



^{しんごう き}信号機



^{ち いき}地域の人たちの協力 ^{きょうりよく}



^{み まも}子どもの安全を守る見守り隊 ^{たい}

学校のPTAや地域の人たちによる交通安全指導やパトロールなど、多くの人たちが地域の安全を守るために力を出し合っています。

見守り隊 (セイフティースタッフ) の人のお話

私たちは、^{とうげこう}登下校の時間に家の外に出たり、^{きんじょ あぶ}近所に危ないところがないか見回ったりしています。

子どもたちはもちろん、地域のみなさんが事故や事件^{じけん}にあわず、安心して^{ねが}くらししてほしいと願っています。

仕事ではありませんが、町で子どもたちに会ったとき元気にあいさつをしてくれたりするととてもいい気分になり、やりがい^{かん}を感じます。

また、最近では犬の散歩をしながら見守り隊の活動に協力してくれる人たちも増えてきました。

登下校の安全を守るスクールバス

^{まいとし}毎年、全国各地で子どもがまきこまれる^{かな}悲しい事故や事件がおきています。

加茂市では、学校の登下校をする子どもたちの安全を守るために、32台のスクールバスが走っています。(2024年9月現在)



スクールバスで下校するようす

^か交通課のおまわりさんのお話

^{けいさつしよ}加茂警察署では、交通事故を防ぐために、次の3つのことをしています。

- 1 ^{し どう と}交通指導・取りしまり (スピードいはんや^{しんごう む し}信号無視など)
- 2 ^{あんぜんきょういく}安全教育 (子ども、お年より、^{うんでんしゅ}運転手の安全教室など)
- 3 ^{かん り}交通管理 (信号機や横断歩道、^{ひょうしき}交通標識の設置など、安全し設^{せつ}を整備する仕事など)

交通事故は、とてもたくさん起きています。自分とは関係ないと思いがちですが、人のこととは思わず、いつ、どこで、交通事故にあうか分かりませんので、気をつけてください。

それには、交通のきそくをよく守ったうえで、さらに安全をたしかめるようにすることが大切です。

7 加茂市の歩み

(1) かわる^{どうぐ}道具とくらし

ひとびと
○加茂市の人々のくらはどのようにうつりかわってきたのでしょうか。

加茂市民俗資料館の展示から



むかし のう か
昔の農家



水がめ なべ かま 火けしつぽ
かまど



つぐら (「えじこ」ともいう)



昔の店先



かさ

みの

のうぎょう どうぐ 農業の道具



ぐるま
じゃ車



じゃ車を使っているところ



ころ (たう 植えわく) を使っているところ



とうみ

ほか その他の道具



糸車



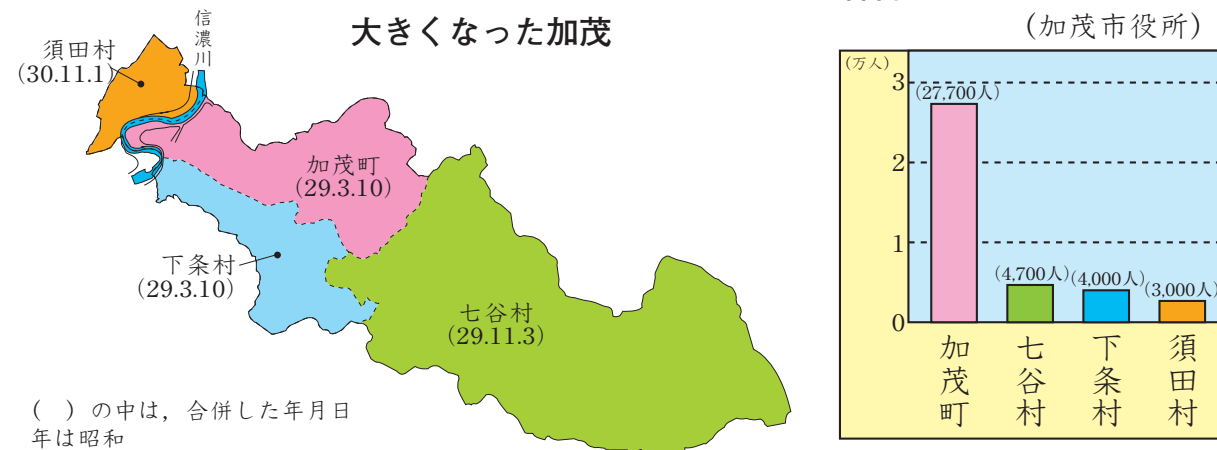
のこぎり



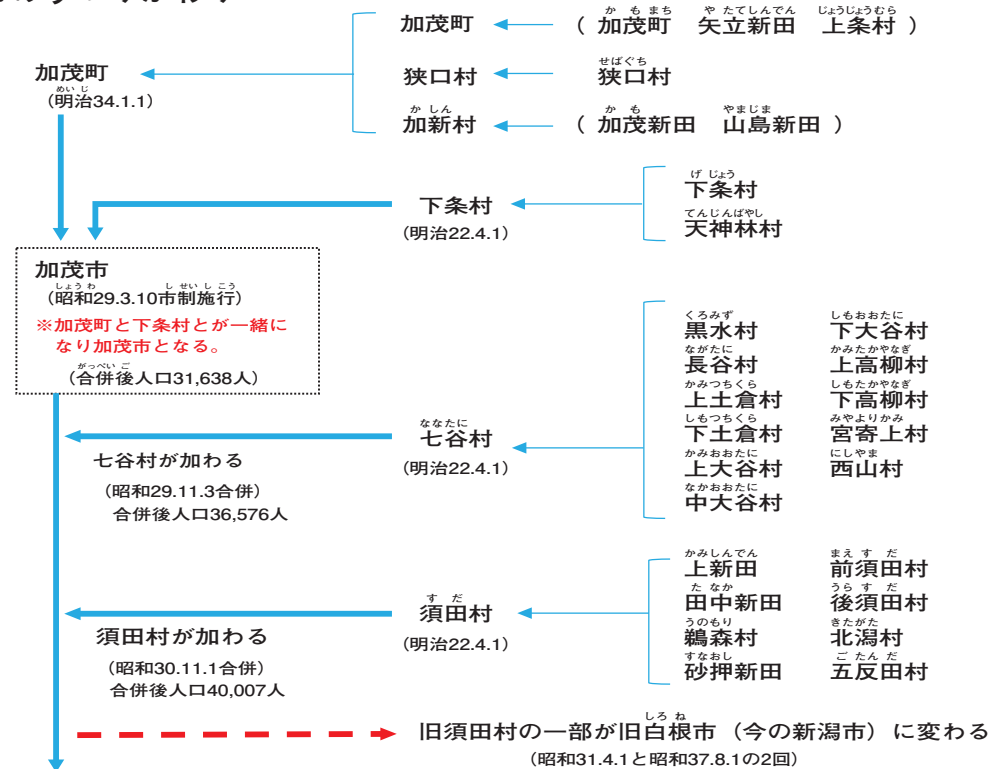
昔の道具は、どのように使われていたのかな？
今は、どんな道具に変わったのかな？ 調べてみよう。

(2) 市のうつりかわり

1954（昭和29）年3月10日、加茂町は下条村と合併し、加茂市になりました。その後、七谷村、須田村とも合併し、今の加茂市ができたのです。



市のうつりかわり



加茂市の人口のうつりかわり

区分	世帯数	男の数	女の数	合計
昭和45年	8,659	18,293	19,597	37,890
昭和55年	9,091	17,847	18,858	36,705
平成2年	9,158	16,802	18,061	34,863
平成12年	9,613	15,961	17,124	33,085
平成22年	9,677	14,350	15,412	29,762
平成27年	9,634	13,447	14,405	27,852
令和2年	9,396	12,406	13,035	25,441

(3) 昔と今のまちなみ



1895（明治28）年の仲町のようす



1906（明治39）年の加茂停車場のようす



昭和の初めころの加茂駅のようす



昔の加茂川のようす



今のようす

1897（明治30）年、北越鉄道（今のJR信越本線）が開通し、加茂停車場（駅）ができたことにより、それまでよりも三条や新潟へ早く行けるようになりました。



今のようす



今のようす

(4) 加茂市の^{おも}主な^{せつ}施設

① 学習に^{やくだ}役立つ^し施設

^{としょかん}
図書館（神明町）

市の図書館には、14万冊を超え
る本があります。

絵本や^{ずかん ひやか じてん}
図鑑、百科事典をはじめ、
^{きょうど しりょう}
新聞や郷土資料など、学習に役立つ
本や資料がたくさんあります。

本の^か貸し出しも行っているので、
家で読んだり学習したりすること
もできます。

また、館内のパソコン（インタ
ーネット）を使^{つか}って知りたいこと
を^{しら}べることもできます。



^{みんぞく}
民俗資料館

（加茂山：市民体育館のとなり）

市の民俗資料館には、昔^{むかし えど}（江戸
^{じだい しやうわ}時代～昭和）の人々が生活や仕事
で使っていた^{どうぐ}道具や衣類^{いるい}など、学
習に役立つ資料が約1,200点も展
示されています。

展示品の中には、この地域で見
つかった^{かせき じやうもん}化石や縄文・古墳時代の
^{どき}土器、市指定の文化財^{ぶんかざい}といった貴
重な資料も数多く^{ちやう}ふくまれています。



② ^{かいぎ}会議やイベントなどで使用する^し施設



加茂文化会館 ^{さいわいちやう}
（幸町）



^{さんぎやう}
産業センター（幸町）

③ スポーツのための^し施設



^{りくじやうきやうぎ}
陸上競技場 ^{せばぐち}
（狭口）



^{ふゆどりごえ}
冬鳥越スキーガーデン ^{ながたに}
（長谷）



^{たいそう}
体操トレーニングセンター ^{こまおか}
（駒岡）



^{おんすい}
温水プール ^{しんめいちやう}
（神明町）

④ いこいの^し施設



^{おんせん} ^{びじん} ^ゆ ^{みやよりかみ}
加茂七谷温泉 美人の湯（宮寄上）



加茂山公園 ^{まつざか}
（松坂町）

8 ごみはどこへ

〇昔の人は、ごみをどのように処理していたのかな？

(1) 昔のごみ処理の仕方

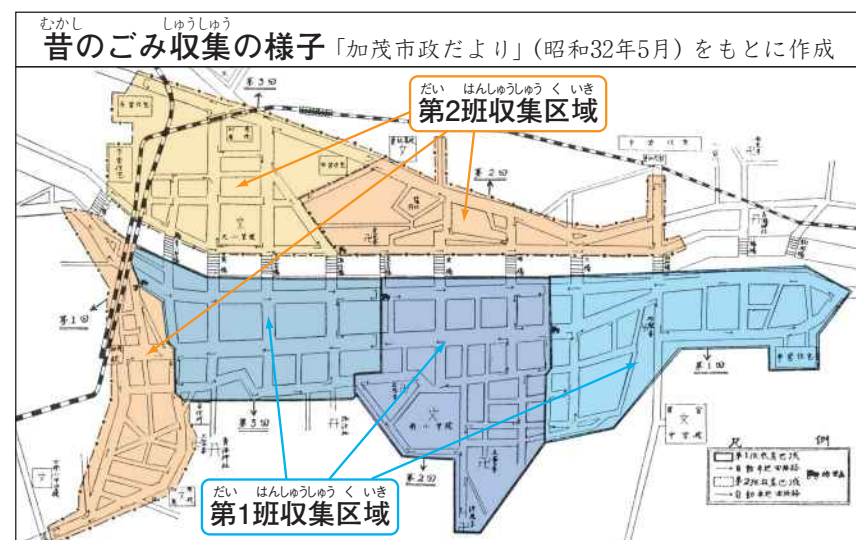
昔は、家庭から出るごみは庭で燃やしたり、土にうめたりして、各家庭で処理をしていましたが、人々の生活が豊かになるにつれて、ごみの量は増え、さらにプラスチックの登場など、ごみの種類が多くなると、家庭での処理がむずかしくなりました。

加茂市では、加茂町だったときから業者にごみの収集をお願いしていましたが、牛車や大八車を使っていたので、たくさんのごみを集めることができませんでした。そのため無断で空き地や川にごみをすてる人が増えて、それが町をよごす原因になりました。

そこで1957(昭和32)年に、市がトラックを使ってごみを収集するようになりました。しだいにごみを集める日を地域別に決めるなどルールが整えられていきました。



トラックを使ったごみ収集の様子



←このころは加茂のまちの中しか集めていませんでした。
加茂川の右岸と左岸に分け、それぞれの地域を、2日に1回ずつ集めていました。

(2) ごみの収集のうつりかわり

- 1918年 農家のひりょうとして、ごみを集めて売る人が出てくる。
- 1930年 加茂町が業者にたのんで、牛車2台、大八車3台で、町なかを中心に
ごみを集めはじめる。
- 1957年 加茂市が2トン車2台で、町なかのごみを集めはじめる。
- 1958年 千刈に大がたのごみ焼却場ができる。
- 1960年 2トン車3台、4トン車1台で週3回集めるようになる
※1日1人あたりのごみ…約310グラム (1960年度)
- 1966年 パッカー車を買入れる
- 1970年 田上町に1日50トン処理できるごみ焼却場ができる。
※1日1人あたりのごみ…約430グラム (1970年度)
- 1971年 ガラス類と鉄類を、もえるごみと分けて集めはじめる。
※1日1人あたりのごみ…約550グラム (1975年度)
- 1980年 田上町に1日60トン処理できるごみ焼却場ができる。
- 1985年 粗大ごみ(タンスやベッドなど)の処理場ができる。
- 1987年 プラスチックを燃やした時に出る有害物質を取り除く装置が取り付けられる。
- 1994年 廃家電製品を集めはじめる。
- 1996年 冷蔵庫やエアコンの中にある有害物質(フロンガス)を回収しはじめる
- 1999年 清掃センターの大改修工事を行う。
- 2002年 家電リサイクル法により、冷蔵庫・テレビ・エアコン・洗濯機は販売業者などにリサイクル料をはらい、引き取ってもらう。
※1日1人あたりのごみ…約930グラム (2008年度)
- 2017年 蛍光灯類を集めはじめる。
※1日1人あたりのごみ…約960グラム (2018年度)
※1日1人あたりのごみ…約1020グラム (2019年度)
- 2020年 ガラス類を集めてリサイクルできる空きびんと、うめ立てするガラス類を分別作業するストックヤードができる。空きびんのリサイクルをはじめる。
- 2021年 ペットボトルを集めはじめる。
- 2022年 粗大ごみをインターネットに出品してリユースする。
- 2023年 ごみ袋を透明または白色半透明にする。
古紙類を集めはじめる。
※1日1人あたりのごみ…約775グラム (2023年度)

どうして2023年度に1人あたりのごみの量が減ったのかな？



(3) 今、ごみとどのように関わっているのか？

今では、加茂市内の全ての地域でごみ収集をしています。種類によって、市が集めるごみと、そうでないごみに分けて集めています。

<市が集めるもの>

- 燃えるごみ……………週3回（月・水・金曜日と火・木・土曜日）
- 燃えないごみ……………月1回
- ・ガラスや陶器 ・鉄類（空き缶など）・家電製品（大型を除く）
- リサイクル品……………月1回
- ・ペットボトル・新聞・雑誌・ダンボール

<自分で清掃センターに持ち込むもの>

- 粗大ごみ（家具類，ふとん，マットレス，スキーなど）
- お店や工場から出るごみ

<自分で業者に処理をお願いするごみ>

- タイヤや消火器などの処理がむずかしいごみ

(4) 集めたごみはどこへ？

集められたごみを処理する施設が、田上町にある清掃センターです。

この清掃センターは、1980(昭和55)年に、加茂市と田上町が共同でつくった施設です。



清掃センター

令和6年度 加茂市 家庭ごみの分け方と出し方

※このポスターは、加茂市環境局が作成しています。詳しくは、環境局ホームページをご覧ください。

出方 透明・白色半透明の袋を使用してください

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

燃えるごみ、燃えないごみ、資源物の分別方法と収集日表が掲載されています。

加茂市環境局 電話 057-2415 環境センター 057-2415 (受付) 月～土曜 9時～18時30分 05.75.13/31-7月24日



ごみを計量する様子



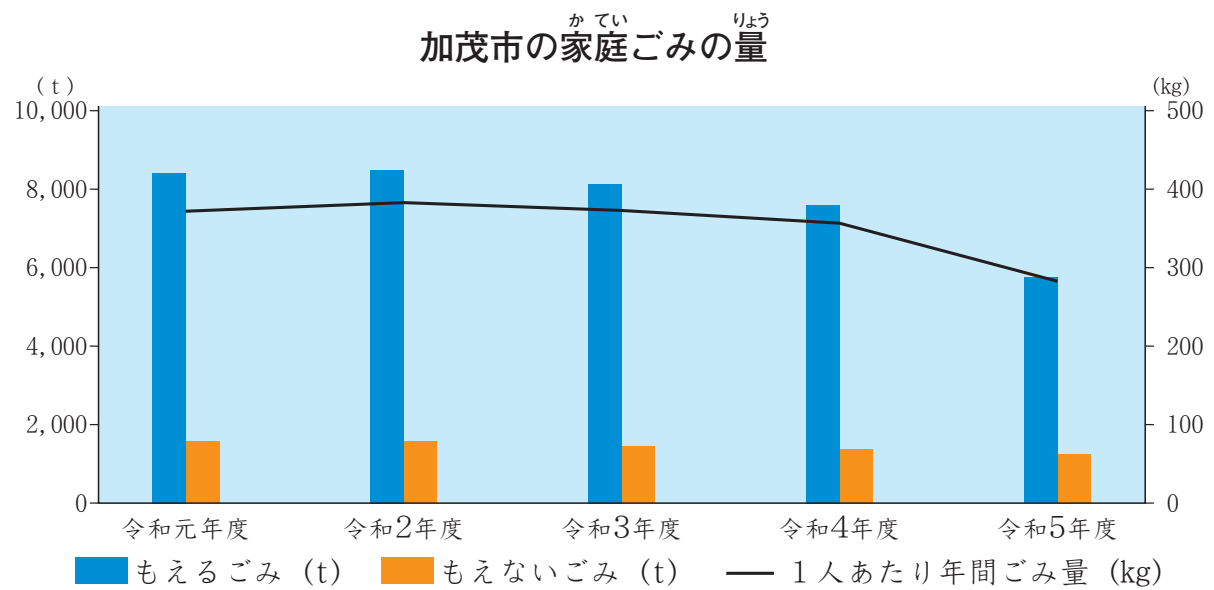
収集車からごみを出す様子



クレーンでごみを運ぶ様子



制御室の様子



加茂市で出るごみの量は、1人あたり令和5年度1年間で約283kgです。

(5) 清掃センターからごみはどこへ？

清掃センターに集められたごみは、種類や処分のしかたで行先がちがいます。



① 燃えるごみ (燃やしたあとの灰)

清掃センターでごみを燃やしてできた灰は、田上町の上野うめ立て地に運ばれ、その後、県外の処分場へ運びます。



加茂新田ストックヤード

② 燃えないごみ

回収されたガラス類は加茂市新田のストックヤードに集められ、空きびんとガラス・陶器類に分別されます。空きびんはリサイクルセンターへ、ガラス・陶器類は、県外へうめ立て処分されます。

③粗大ごみの処理

たんすやベッドなどの大きなごみ（粗大ごみ）は、細かくくだいてから燃やして処理します。

④鉄類・家電製品・乾電池の処理

清掃センターに集められた鉄類や家電製品、乾電池といった不燃物（燃えないごみ）は、ごみの再生利用（リサイクル）を行う業者に引き渡します。これらのごみは種類ごとに分解したり細かくくだいたりして、新しい製品をつくる材料（資源）としてリサイクルされます。

リサイクルに手間のかかる大型家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の4品目）は、家電リサイクル法のきまりで、ごみを出す人がリサイクルにかかるお金を負担し、家電を売るお店などの業者が回収して、家電をつくる会社がリサイクルを行うことになっています。

きまりをつくり正しく処理することで、よりたくさんのごみを回収して、資源として利用することができます。それは同時に、不法投棄などを減らし環境を守ることにもつながります。



不法投棄されたごみ
(決められた場所ではない
ところにすてられたごみ)



火災が発生したごみの山
(正しい方法でごみの処理や
管理を行わないと、火災や
有害な物質がでる危険があ
ります。)

(写真提供：経済産業省)

(6) ごみを減らす工夫

ごみを資源として再生利用（リサイクル）する取り組みは増え、さまざまな地域や場所で行われていますが、ごみをリサイクルするからといって、たくさんのごみを出してもよいわけではありません。ごみをリサイクルするときにも、機械やトラックを動かす燃料などの費用や手間がかかります。また、リサイクルができないごみは、燃やしたりうめたりして処分されますが、ごみをうめる場所にもかぎりがあります。ごみの処理にかかる費用をせつやくし、うめたて地の使用期間をのばすためには、ごみを出さないようにする、ごみの量を減らすことがたいせつです。

ごみになりやすいものを家の中に持ちこまない。

買い物での工夫

- ・必要なものを必要な分だけ買う。
- ・長く使えるものを選ぶ。
- ・つめかえ製品のあるものを選ぶ。
- ・レジ袋はことわるなど。



ごみとして捨てる前にできることを考える。

- ・修理する。
- ・別の使い道を考える。
- ・ほしい人にあげる。
- ・リサイクルショップやフリーマーケットを利用するなど。



ごみを減らす方法は
他にもないかな？



9 水はどこから

(1) 水の^{つか}使われ方

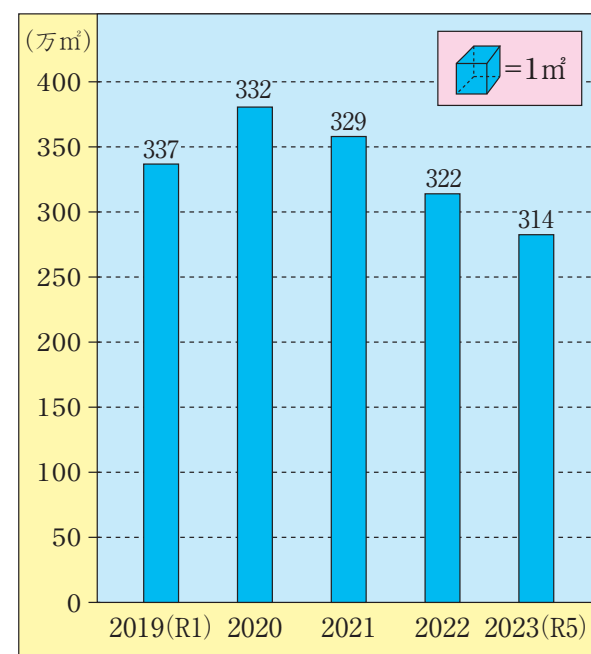
○わたしたちは、どのくらいの水を使うのでしょうか。

①Aさんの家の水の使われ方



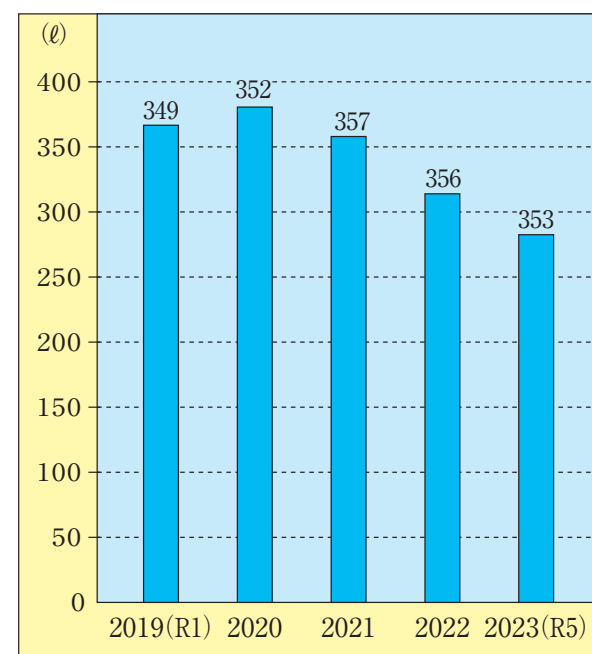
②水道^{し ょうりょう}使用量^{へん か}の変化

(2019～2023 加茂市上下水道課調べ)



③1人1日^{し ら}当たりの水の変化

(2019～2023 加茂市上下水道課調べ)



(2) 加茂市の水道

○水道がどのようにひかれ、広がってきたのでしょうか。

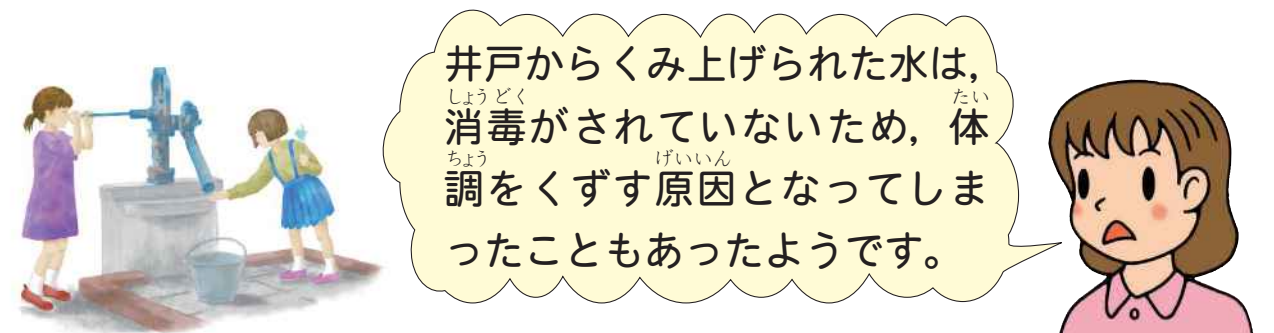
水道ができるまでは、人々はわき水や川の水などをくんだり、井戸をほって水をくみ上げたりしていました。

加茂市では、1957（昭和32）年にはじめて水道が使えるようになり、人々のくらしは衛生的でべんりになりました。

しかし、工場がたくさんでき、家庭で使う水の量が増えてくると、水がたりなくなってきました。そこで、1975（昭和50）年に加茂市、田上町、三条市、栄町（現三条市）、下田村（現三条市）の五つの市町村で^{おたに}大谷ダム（^{ちく}三条市下田地区）の水をきれいに^{した}して五つの市町村に^{きゅうすい}給水するための「^{ちいき}三条地域水道^{きょうきゅう}用水^{きぎょう}供給企業^{だん}団」をつくりました。1979（昭和54）年に^{こうじ}工事が始まり、1996（平成8）年に^{かんりょう}工事は完了し、^{あんしん}安心して水が使えるようになりました。

<水道のひろがり>

- 1957年 水道が使えるようになる。（^{ちよすい}第一貯水池、^{みやより}宮寄上^{かみじょうすいじょう}浄水場ができる。）
- 1961年 第二貯水池ができる。
- 1973年 ^{てんじん}天神林^{しゅすい}取水塔、^{じょうすい}浄水場ができる。
- 1994年 ^{ながたに}長谷、^{かみつくら}上土倉、^{しもつくら}下土倉の3地区の給水が始まる。
- 1996年 ^{みやこが}都ヶ丘^{おかしやうせい}調整池が完成し、^{かんせい}大谷ダムから水をとった^{はじ}三条地域水道用水供給企業団からの給水が始まる。
- 1998年 ^{かみたか}上高柳地区の給水が始まる。
- 2006年 ^{にしやま}西山地区の給水が始まる。
^{やたて}矢立調整池（^{ちいき}三条地域水道用水供給企業団）の給水が始まり、加茂市の全ての地域できれいな^{あわ}粟ヶ岳水系の水が使えるようになった。
- 2007年 ^{なかおたに}中大谷、^{かみおたに}上大谷の2地区の給水が始まる。



(3) 水がとどくまで

○わたしたちが毎日使っている水道の水は、どのようにして家までとどくのでしょうか。

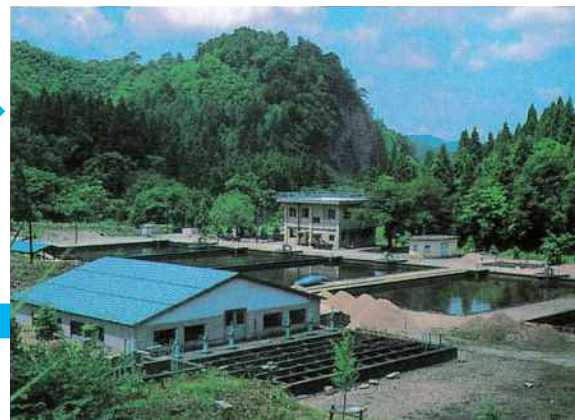
だい 第1ダム(第1貯水池)



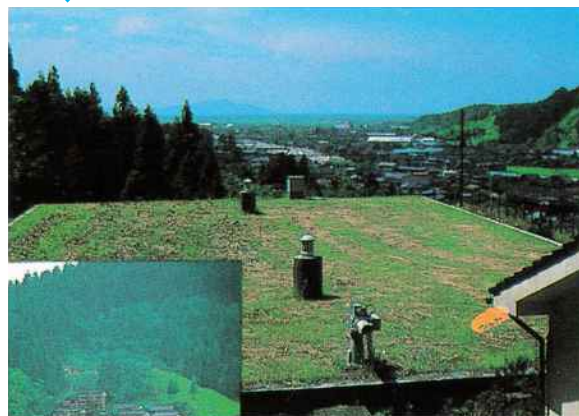
第2ダム(第2貯水池)



みやよりかみじょうすいじょう 宮寄上浄水場



さくらざわはいすい ち 桜沢配水池



かてい 家庭や学校などへ

てんじんばやししゅすいとう 天神林取水塔

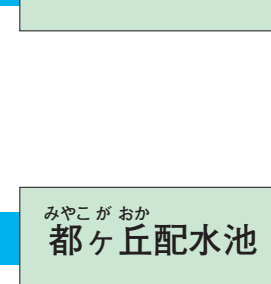


天神林浄水場

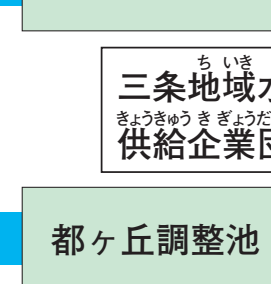


きんぎゅうじ 緊急時だけ

やたて 矢立配水池



ちようせい ち 矢立調整池

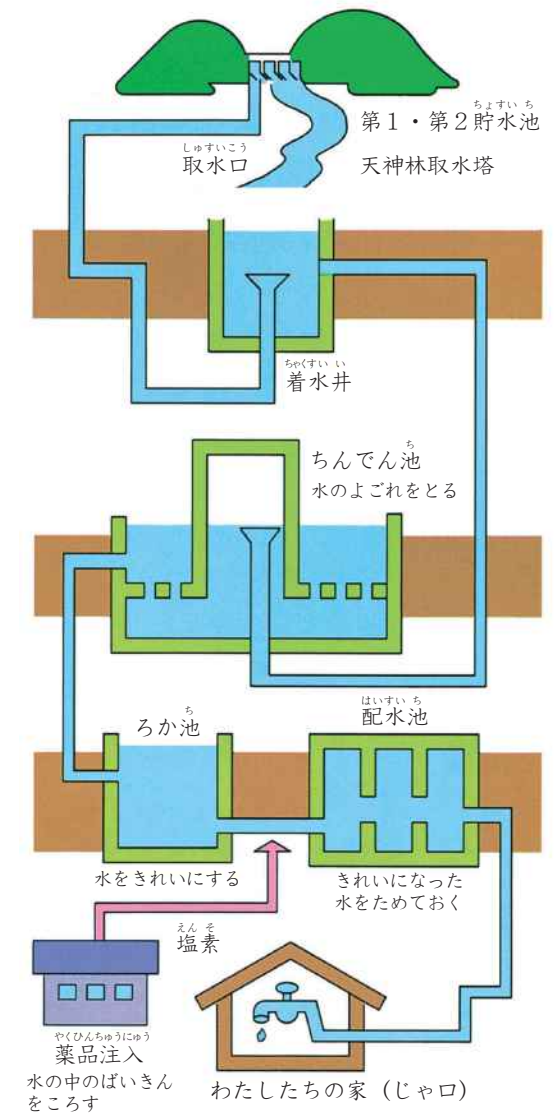


ちいさ 三条地域水道用水 ぎょうきゅう ぎょうだん 供給企業団から

みやこが おか 都ヶ丘配水池



都ヶ丘調整池



大谷ダム (ひめさゆり湖)



すいどうきょう 水道橋



(4) ^{つか}使われた水のゆくえ

○家や学校で使われた水は、どうなるのでしょうか。



家や学校で使われた水は、^{かん}下水管を通して^{じょうか}浄化センターに送られます。

浄化センターでは、よごれた水をきれいにしてから、^{しなの}信濃川に流^{なが}す仕事をしています。

加茂市では、^{うつ}美しい自然を守り、^{しぜん}住みよいまちをつくるために、^す1989（平成元）年5月から^{へいせいがん}下水道が^{ねん}使われています。毎年、^{まいとし}工事が^{こうじ}進められ、^{すす}使われる地域が^{ちいき}広がってきています。

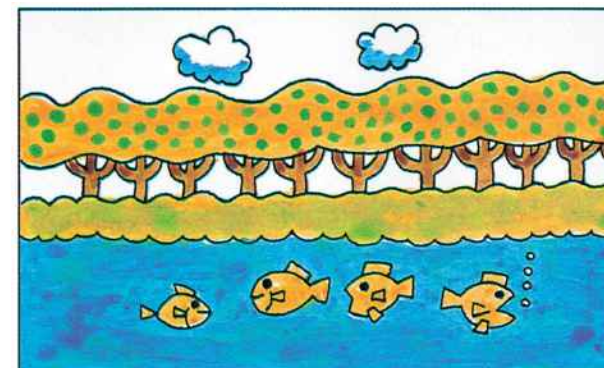


^{じょうか}加茂市浄化センター（加茂新田）



^{ほんかん}下水管（本管）の工事のようす

……下水道が使えるようになると……



①^{かてい}家庭や工場からでるよごれた水^{げじょう}がそのまま加茂川や下条川に流れないので、川がきれいになります。



②^{かいてき}トイレが快適に使えるようになります。



③^{あまみず}雨水をすばやく流し、^{どうろ}家や道路が大^{ふせ}水になるのを防ぎます。



④よごれたドブやミゾがなくなり、^{はっせい}いやなにおいや、カ・ハエなどの発生を防ぎます。

10 自然災害にそなえるまちづくり

(1) 1969 (昭和44) 年の大水害

加茂市の中心を流れる加茂川は、人々のくらしを豊かにしてきました。その一方で、何度も洪水を繰り返して、多くの被害をもたらしました。

1969 (昭和44) 年8月11日に大雨洪水警報が発令され、8月12日午前4時頃より雨は一段と強くなりました。この日の正午までの降水量は216.9ミリを記録し、加茂川や下条川がはんらんしました。死者9人、浸水6547世帯、こわれた家75棟という、かつてない大きな被害がでました。



西宮橋、葵橋のまわりの様子



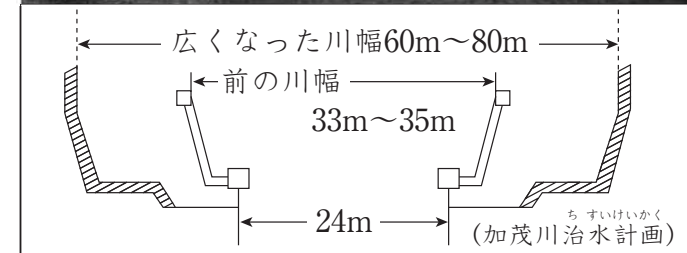
加茂小学校内の様子



1969 (昭和44) 年8月12日の駅前通りの様子

(2) 加茂川と下条川の改修工事

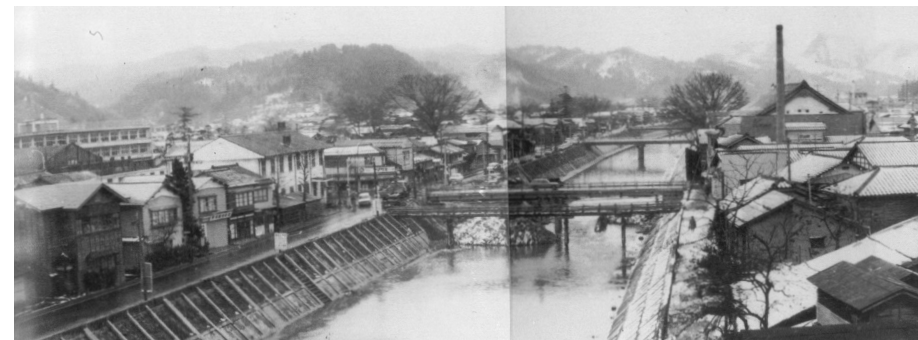
1969 (昭和44) 年の大水害のわずか2年前にも、4660世帯が浸水する大水害がおこるなど、加茂市は過去にも何度も水害におそわれました。そこで昭和44年の大水害の後、水害のない町づくりをめざして、加茂川と下条川の大改修工事が行われました。加茂川では、川はばをそれまでの2倍に広げ、深さも2倍にする工事が行われました。この工事に協力するために約600世帯が引っ越しをしました。



新しい川はばと堤防の計画



1983 (昭和58) 年ころの工事のようす
(昭和橋付近)



改修前
1973 (昭和48) 年
葵橋付近



改修後
1984 (昭和59) 年
葵橋付近

下条川では、上流の長福寺地区に、下条川ダムが建設されたほか、川はばを広げたり、川をまっすぐにする工事が行われました。

1973（昭和48）年に完成した下条川ダムは、川の水量調節を行うための治水ダムとしてつくられましたが、1994（平成6）年から「地域に開かれたダム」として、人々が豊かな自然とふれあえるような整備も行われました。



水害直後の下条川の様子



工事後の下条川



下条川ダム



自然学習館



トンボ生態園

1969（昭和44）年の大水害後に始まった加茂川と下条川の工事は、15年を超える長い年月をかけて、下条川の一部をのぞいて、ひとまず完成しました。しかし、2004（平成16）年7月に大雨による水害がおきたことにより、現在、より災害に強い川にするための整備が進められています。

(3) 2011（平成23）年の7.29水害

2011（平成23年）7月27日から30日かけて、新潟県と福島県を中心とする広い地域で非常にはげしい雨が降りました。加茂市でも宮寄上の観測地点で24時間に473.5ミリの降水量を記録する大雨になりました。この大雨により市内でも、住宅ひ害140棟以上、道路がこわれたり、山がくずれたりした場所が1,000か所を超えるなどの大きなひ害がでました。しかし、過去に水害を経験し、その後、川はばを広げる工事やてい防を高くする工事などを行ってきたことにより、1969（昭和44）年の大水害のようなひ害を防ぐことができました。



2011（平成23）年7月30日の五反田橋付近の様子（写真提供：新潟県土木部）



雨水をポンプで川にくみ出す様子（千代橋付近）

災害はいつどこで起きるかわからないね。災害にそなえてできることはないかな？



○加茂市は、自然災害から住民を守るためにどのような取り組みをしているのでしょうか。

(4) 加茂市防災担当の人のお話

災害に強い地域づくりへ

加茂市は、地震が発生したときや洪水、土砂災害が発生しそうなときには、「災害対さく本部」を設置して、国や県などの関係機関と連携しながら、市民の生命や財産を守るための防災活動を行います。災害対さく本部では、気象情報やひ害情報を収集したり、ひ難情報を発令したり、ひ難所の開設などを行います。

災害からの被害を少なくするためには、とくに、「自助」（自分の命は自分で守ること）、「共助」（地域は、地域の助け合いの力で守ること）が大切です。

市民のみなさんが、防災意識を高め、災害時に自ら判断し、行動できるようにと、市では、「かも防災・行政ナビ」による防災情報の伝達や防災出前講座、総合防災訓練などの取り組みを行っています。



防災アプリ「かも防災・行政ナビ」を使うと、災害時に防災に関する情報がスマートフォンや専用タブレットに届きます。

(5) 加茂市総合防災訓練・防災フェア

加茂市では、防災への意識を高めるためと、災害時にスムーズに避難ができるように市民が参加して「総合防災訓練」を行っています。また、「防災フェア」ではいろいろな体験を通して防災について学ぶことができます。



市の職員と地域の人が協力して、ひ難所の設営を訓練



一人でひ難が困難な人を地域の人が協力して、ひ難所に移動させる訓練



防災ポンチョづくり体験



救命ボート体験

(6) かも防災出前講座

「かも防災出前講座」は、加茂市の防災担当職員が学校や団体などに行き、防災講座を行うことです。防災に関わる知識を学ぶことができます。



地域の人がハザードマップの見方や避難の方法を学ぶ



避難所で使うテントの組み立てを体験



停電時に役立つペットボトルを使ったランタンづくり



自分たちで組み立てた段ボールベッドの体験

加茂市内では「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、地域の方が「自主防災組織」をつくっています。

自主防災組織はふだんは災害に備えた取り組みをし、災害が起きた時には被害を減らすために活動します。加茂市内では14の自主防災組織（20.6%※）があります。

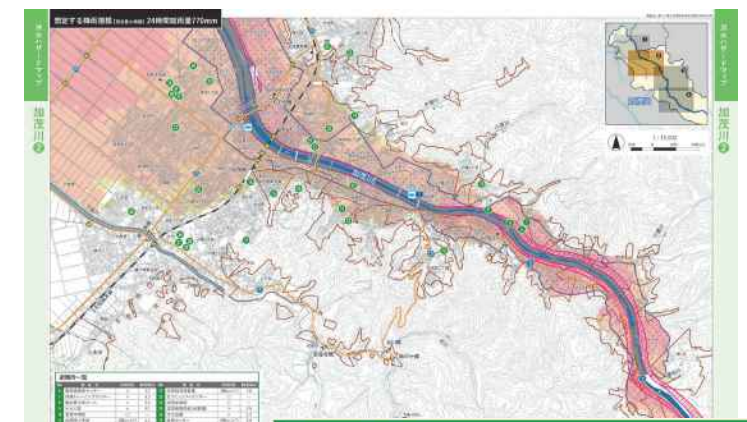
（※自主防災組織活動カバー率を示す。令和7年2月現在）

自主防災組織について、もっとくわしく調べてみよう。



(7) 加茂市洪水ハザードマップ

「加茂市洪水ハザードマップ」は、大雨により市内を流れる川がはんらんした場合に、安全を確保する行動を支援するものです。予想される水の深さや避難所の位置が示されています。



No.	施設名	利用判定	最大浸水深(m)	No.	施設名	利用判定	最大浸水深(m)
6	勤労者体育センター	×	3.7	22	加茂西宮保育園	2階以上○	2.0
7	体操トレーニングセンター	×	4.2	23	北コミュニティセンター	○	—
8	勤労青少年ホーム	×	2.4	24	加茂中学校	○	—
9	かも川荘	×	3.1	25	加茂高等学校(体育館)	×	2.5
10	若宮中学校	○	—	26	文化会館	×	1.7
11	加茂南小学校	2階以上○	1.1	27	産業センター	2階以上○	2.0
12	本蓮寺こども園	○	—	28	母子健康センター	2階以上○	1.7
13	中央コミュニティセンター	2階以上○	2.8	29	ゆきづばき荘	2階以上○	1.7
14	駅前集会所	×	0.7	30	石川小学校	2階以上○	1.7
15	市民体育館	○	—	31	西加茂保育園	×	1.9
16	加茂桑幼稚園	○	—	32	西加茂集会所	×	1.0
17	桑中学校	○	—	34	下条小学校	○	—
18	宝が丘保育園	○	—	37	下条保育園	○	—
19	加茂農林高等学校(体育館)	○	—	38	下条体育センター	○	—
20	上条コミュニティセンター	2階以上○	1.9	39	下条コミュニティセンター	○	—
21	加茂小学校	2階以上○	2.7	40	芝野保育園	○	—

加茂市洪水ハザードマップ 加茂川一部

(8) 地域の防災倉庫

地域では、災害に備えて発電機や投光器、担か、リアカーなどの防災資機材を保管しています。毎年、防災訓練で機材の点検や操作訓練を行っています。



参考資料

資料1 まちに残る祭り



青海神社

あおみじんじゃ
青海神社春祭り（加茂祭り）



うばぎょうれつ
乳母行列



てんぐ



長瀬神社

ながせ
長瀬神社春祭り（上条まつり・だんごまつり）



ごしんこうぎょうれつ
御神幸行列



ろっかく
六角みこし



てんまぐう
天満宮の春祭り

ちごまい
稚児舞

げんざい
現在まで祭りや行事
が受けつがれてきた
んだね。



ゆきつばき 雪椿まつり

きびしい冬にもたえ、春には美しい花をさかせる雪椿は、新潟県
の人のねばり強さに似ているとして、1966（昭和41）年に「新潟
県の木」に選ばれました。

このことを記念して、1967（昭和42）年に雪椿がたくさんさく
加茂山公園で「雪椿まつり」が始まりました。毎年4月には満開の
雪椿と桜の中でたくさんのイベントが行われます。



HIKARI×TSUBAKI



とも
灯し山

えちご 越後加茂川夏祭り

1967（昭和42）年と1969（昭和42）年に大水害でひ害が出た加
茂川は、川を広げる工事が行われ、1986（昭和61）年に今の加茂
川が完成しました。

このことを記念して、同じ年の8月に「越後加茂川夏祭り」が始
まりました。毎年8月14日には、加茂川が流れるそばで、盛大な
イベントが行われます。



だいぼんおど
大盆踊り大会の様子



やく
大ナイアガラ花火（全長約2km）

資料2 加茂市の文化財

文化財には有形文化財，無形文化財，民俗文化財，記念物などがあり，くわしく調べることで，歴史や文化の学習に役立ちます。

特に貴重な文化財は，国や県，または市町村が指定（または登録）して保存に努めています。

文化財はさらに，考古資料，建造物，絵画，彫刻，工芸品，芸能，民俗，史跡，天然記念物など，種類によって細かく分類することができます。

①加茂市の文化財一覧表

県指定文化財

番号	種 別	名 称	年 代	所在地等	所有者
1	考古資料	青海神社境内経塚出土品	平安時代後期	加茂	青海神社
2	彫刻	木造大日如来坐像	平安時代前期	後須田	地藏院
3	彫刻	木造伝元三大師坐像	鎌倉時代後期	若宮町一丁目	雙壁寺
4	彫刻	木造阿弥陀如来立像	鎌倉時代後期	八幡一丁目	西光寺

市指定文化財

5	建造物	青海神社社殿	本殿：延文2年（1357） 鸛張廊下：宝暦7年（1757）	加茂	青海神社
6	建造物	青海神社由緒碑	天明7年（1787）	加茂	青海神社
7	建造物	鶴巻家住宅主屋	明治8年（1875）	黒水	個人
8	建造物	鶴巻家住宅酒蔵	大正10年（1921）	黒水	個人
9	建造物	鶴巻家住宅旧七谷郵便局舎	昭和10年（1935）	黒水	個人
10	建造物	浅見家住宅	江戸時代後期	秋房	個人
11	建造物	加茂製材事務所	昭和4年（1929）	上条	株式会社加茂製材
12	絵画	古川茂陵画像	不明	本町	個人
13	絵画	絹本著色両界曼荼羅	鎌倉時代後期～南北朝時代	狭口	金泉寺
14	絵画	若宮八幡宮格天井画	江戸時代後期	鵜森	鵜森・若宮八幡宮
15	工芸品	太刀（安綱）	寛延3年（1750）奉獻	加茂	青海神社
16	工芸品	太刀（国次）	不明	加茂	青海神社
17	書籍・典籍	良寛遺墨	江戸時代後期	加茂文化会館	加茂市
18	古文書	古川家文書	天文3年～寛政5年（1534～1793）	本町	個人
19	古文書	市川家文書	天正5年（1577）・慶安元年（1648）	加茂市教育委員会	加茂市
20	古文書	図書館文書（加茂町・上条村絵図）	寛保2年（1742）	加茂市立図書館	加茂市
21	古文書	浅野家文書	天文12年～明治41年（1543～1908）	本町	個人
22	古文書	小柳家文書	寛永5年～明治12年（1628～1879）	加茂市民俗資料館	加茂市

23	古文書	斎藤家文書（加茂村・下条村境界裁許絵図）	慶安元年（1648）	矢立	個人
24	古文書	小柳家文書	寛永4年～慶応4年（1627～1868）	加茂市民俗資料館	加茂市
25	考古資料	七谷水源池遺跡出土土器	縄文時代中期	加茂市民俗資料館	加茂市
26	考古資料	千刈遺跡出土土器	古墳時代後期	加茂市民俗資料館	加茂市
27	考古資料	丸山遺跡出土品	旧石器時代	加茂市民俗資料館	加茂市
28	考古資料	鬼倉遺跡出土品	奈良～平安時代	加茂市民俗資料館	加茂市
29	考古資料	板碑	鎌倉時代	黒水	個人
30	考古資料	岡ノ町古銭出土地出土品	鎌倉時代	加茂・寿町	加茂市・個人
31	歴史資料	版木	江戸時代後期	矢立	個人
32	歴史資料	白玉粉製造機械，石臼	機械：昭和20～30年代 石臼：明治～大正時代	駅前	株式会社渡英商店
33	歴史資料	鉄道車両モハ1	大正12年（1923）	冬鳥越スキーガーデン	加茂市
34	歴史資料	鉄道車両モハ61	昭和15年（1940）	冬鳥越スキーガーデン	加茂市
35	歴史資料	電気機関車ED1	昭和5年（1930）	冬鳥越スキーガーデン	加茂市
36	歴史資料	森田千庵遺品	江戸時代後期	加茂市立図書館	加茂市
37	歴史資料	銀田鴨背遺稿集	明治時代	加茂市立図書館	加茂市
38	芸能	平家琵琶	鎌倉時代～現代	穀町	個人
39	有形民俗文化財	灌漑用具（てっぼう・だいろ・じゃ車）	明治中期～昭和初期	加茂市民俗資料館	加茂市
40	有形民俗文化財	漢方薬製薬器具	江戸時代末期～明治初期	加茂市民俗資料館	加茂市
41	有形民俗文化財	手加工時代の建具製造工具	明治末期～昭和初期	加茂市民俗資料館	加茂市
42	無形民俗文化財	青海神社神事（鎮火祭・御粥神事）	不明	加茂	青海神社
43	史跡	勅使手植の櫻跡	天文14年（1545）	加茂	青海神社
44	史跡	明治天皇行在所跡	明治11年（1878）	仲町	加茂市
45	史跡	加茂山要害城砦跡	元亀元年（1570）	新町一丁目	個人
46	史跡	丸山遺跡	旧石器時代	上大谷	加茂市
47	史跡	高柳城跡	天文～天正年間	上高柳・中大谷	個人
48	史跡	薬師山城跡	天文～天正年間	黒水	個人・賢聖寺
49	天然記念物	翁杉	樹齢約1千年	加茂	青海神社
50	天然記念物	カモナナタニムカシイトヨの化石	約990万年前	加茂市民俗資料館	加茂市
51	彫刻	銅造阿弥陀如来立像	室町時代	下土倉	谷泉寺
52	彫刻	木造二天王立像	鎌倉時代後期	若宮町一丁目	雙壁寺
53	彫刻	木造薬師如来坐像	鎌倉時代前期	狭口	金泉寺
54	彫刻	木造男神女神坐像，附猿像	室町時代後期	下高柳	日吉神社
55	彫刻	木造釈迦如来坐像	南北朝時代	五番町	耕泰寺
56	彫刻	石川雲蝶の彫刻	安政4年（1857）	上土倉	十二神社

国登録有形文化財

種 別	名 称	年 代	所在地等	所有者
建築物	山重本店店舗	明治時代後期	仲町	個人
建築物	山重仲町通店店舗（旧加茂錦酒造主屋）	昭和5年（1930）	仲町	株式会社割烹山重
建築物	山重山の蔵（旧加茂錦酒造酒蔵）	明治後期	仲町	株式会社割烹山重
建築物	新潟県立加茂農林高等学校第二洋灯室（ランプ記念館）	明治40年（1907）	神明町	新潟県
建築物	新潟県立加茂農林高等学校正門	明治37年（1904）	神明町	新潟県

②県指定文化財（一部）
青海神社境内経塚出土品（考古資料）

考古資料とは、昔の人がつくった建物や道具、衣類などのうち、土の中から発見されたものをさしています。右の写真は、加茂山で発見されたつばやつつで、今から約840年くらい前につくられたものと考えられています。



伝元三大師坐像（彫刻）

彫刻とは、人や動物などの形を木や石、金属などを材料にしてつくった作品です。

左の写真は、ひのきを材料にして、今から700～750年くらい前につくられたと考えられています。



③市指定文化財（一部）
青海神社神事 鎮火祭（無形民俗文化財）

人々の生活から生まれた習慣や行事、それらに使う道具などを民俗文化財とよび、形のあるもの（有形）と無いもの（無形）に分けられます。

右の写真は、270年以上前から続く青海神社の鎮火祭（ほしずめのまつり）の様子です。



カモシナナタニムカシイトヨの化石
（天然記念物）

天然記念物とは、自然の中にある、めずらしい動物や植物、または数が少ない石や金属などをいいます。

この化石はこれまでに確認されていない新種のイトヨであり、トゲウオ科魚類としては原始的な特徴をもち、トゲウオ科魚類全体の進化を考える上で重要な存在です。



丸山遺跡（史跡）

史跡とは、貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅、その他の遺跡で、歴史上または学術上価値の高いものです。

丸山遺跡は旧石器時代の遺跡で、ナイフ型の石器などが見つかりました。昔の人のくらしを知ることができます。



鉄道車両モハ1（歴史資料）

歴史資料とは、歴史を考える上で必要な資料です。1923（大正12）年につくられてから1940（昭和29）年まで走っていました。現在、県内で保存されている木のつくりの電車としては、一番古いものになります。



④今に残る文化財

加茂の市（六斎市）

今から約360年前の江戸時代の初めごろから続いている朝市で、毎月4と9のつく日に市が開かれ、月に6回あることから「六斎市」とも呼ばれています。

出店の登録者の数は1977（昭和52）年には767店であった。野菜や果物の他に、魚やこん布、衣服といったさまざまなものが売られていました。

昔と比べ、出店の登録者数は減りましたが今も市が開かれる日には、加茂川沿いに店が出て、買い物客が訪れています。



1963（昭和38）年ごろの市の様子



現在の市の様子

加茂縞（綿織物）

今から約220年前の江戸時代の終わりごろから織られてきた綿織物です。織られた模様などから「加茂縞」とよばれ、糸をそめる藍（タデ科の植物）の成分による防虫効果と丈夫さから、農作業の仕事着などとして愛用されてきました。現在、加茂縞を織る人はいなくなりましたが、残っている生地から、シャツや小物入れといったいろいろな製品が作られています。



加茂縞（うわっぱり）
※写真：湯沢町個人蔵



いろいろな加茂縞の製品

加茂紙（和紙）

今から約400年前の江戸時代の初めごろから昭和20年代の終わりごろにかけて、旧七谷村や旧加茂町のあった地域では、和紙の生産が盛んに行われていました。

生産された和紙が「加茂紙」と呼ばれるようになった理由は、「七谷産の和紙の出荷先が加茂町であった」とも、「加茂町の商人が販売するときに使った呼び名が広まった」とも言われています。

加茂紙は江戸時代に加茂地域や七谷地域を支配していた藩への年貢（今の税金）として納められるなどしていましたが、しだいにしよ民の間でも広く使われるようになりました。越後（今の新潟県）の代表的な和紙として高く評価されていた記録が残っています。

昭和30年代になって洋紙が広く使われ始めると、加茂紙をつくる人は少しずつ減り、1992（平成4）年にはつくる人がいなくなっていました。

しかし、平成23年度から市では上町に紙すき場を設置し、加茂紙をつくる体験ができるようになりました。加茂紙を広める取り組みを行っています。



昔の加茂紙づくりの様子



現在の紙すき場の様子

資料3 加茂市の発展

2010（平成22）年12月，加茂市の市街地と須田地区をつなぐ加茂大橋が完成しました。この橋が完成したことにより，人々がくらしやすくなるとともに，地域の産業が活発になりました。

2019（令和元）年9月には，県立加茂病院が建てかえられて新しくなりました。病院のとなりには，病気の子どもを一時的にあずかる加茂・田上病児保育園もつくられ，地域の医療と福祉が充実しました。

これからも，みんなが笑顔でくらすためのまちづくりが進められていきます。



加茂大橋（写真提供：三条地域振興局）



新潟県立加茂病院（青海町）

地域のよさについて話し合い，どのようなよさがあるか整理してみよう。



資料4 年表 加茂市の主なできごと

時代	できごと
旧石器時代	ななたに七谷に人が住んでいた遺跡がある。（丸山遺跡 二万年前旧石器公園）
縄文時代	すいげんちいわのほら水源地，岩野原に人が住んでいた遺跡がある。（水源地遺跡，岩野原遺跡）
弥生時代	げじょうしばの下条芝野に人が住んでいた遺跡がある。（中沢遺跡）
古墳時代	げじょうふくじまこふん下条福島に古墳がつくられる。（福島古墳群）
奈良・平安時代	かまのしげふかたのへいやぶ加茂・下条地区の平野部に大きなムラの遺跡がある。（鬼倉遺跡，馬越遺跡） かんばんぐんおうみのごうよ加茂地域などが蒲原郡青海郷と呼ばれていた記録がある。
平安時代 786(延暦5)年 794(延暦13)年	はちまんぐうながせ八幡宮（長瀬神社）が建立されたといわれている。 かもしんじやふんれい京都の賀茂神社から分霊された神様が加茂山（青海神社）にまつられたといわれている。（市名「加茂」も，賀茂神社から由来したものです。）
鎌倉時代 1186(文治2)年	きぞく京都の貴族が，かまのしげふかたのへいやぶ加茂地域にあった青海庄，石河庄の年貢（税）を催促するよう鎌倉にいるしょうぐんみなものよりども源頼朝へお願いした記録がある。
南北朝時代 1336(建武3)年 1355(文和4)年	あしかがたかうじじょうじょうむらほんそんしはい京都にいる将軍（足利尊氏）が，「上条村（本村）」の支配を貴族にゆるした記録がある。（上条の地名の一番古い記録。） なんぼくちょうぶん古い記録（南北朝の戦いの文けん）にかまのしげふかたのへいやぶ加茂の地名が初めて現れる。
安土桃山時代 1580(天正8)年	えちごせんごくだいみょううえずぎけんしんなかげ越後（今の新潟県）の戦国大名 上杉謙信が亡くなった後，上杉景勝と上杉景虎（どちらも謙信の養子）の軍勢が，かまのしげふかたのへいやぶ加茂山で戦った記録がある。
江戸時代 1598(慶長3)年 1644(正保元)年	かまのしげふかたのへいやぶ加茂地域と下条地域，須田地域は新発田藩（溝口家），七谷地域は村上藩（村上家）の支配となる。 むらまつはんほりけ七谷地域は村松藩（堀家）の支配となる。

時代	できごと
1785(天明5)年 1789(寛政元)年 1813(文化10)年 1846(弘化3)年 1868(慶応4)年	このころから加茂で桐たんすづくりが始まったと言われている。 加茂地域は天領（江戸幕府が直接管理する土地）となる。 加茂の建具屋の記録が残っている。 加茂地域は天領のまま、支配は桑名藩(今の三重県。松平家)となる。 加茂町の庄屋，市川正平治宅で，河井継之助らが参加した加茂軍議が開かれた。
1871(明治4)年 1872(明治5)年 〃 〃 1873(明治6)年 〃 1874(明治7)年 1878(明治11)年 1889(明治22)年 〃 〃 〃 〃 1897(明治30)年 1901(明治34)年 1910(明治43)年 1911(昭和44)年	7月に県ができ，加茂は新発田県となるが，11月に新潟県に変わる。 郵便取扱所（郵便局の前身）ができる。（本町） 下条の光徳寺に「又新館」（下条小学校の前身）ができる。 私塾「克己館」（須田小学校の前身）ができる。 大昌寺に学校（加茂小学校と加茂南小学校の前身）ができる。 加茂新田校（加茂西小学校の前身）ができる。 善興寺に学校（七谷小学校の前身）ができる。 明治天皇が新潟県各地を回られ（北越巡幸），加茂にお立ち寄りになる。 加茂町に，上条村と矢立新田が合併する。（人口9,283人） 下条村に，天神林村が合併する。（人口2,930人） 加茂新田と山島新田が合併して加新村ができる。（人口1,420人） 黒水村，長谷村など11村が合併して七谷村ができる。（人口4,003人） 五反田村，北潟村など8村が合併して須田村ができる。（人口3,088人） 北越鉄道（J R信越本線の前身）が通り，加茂停車場ができる。 加茂町に，狭口村と加新村が合併する。（人口12,982人） 加茂に初めて電話が開通する。 加茂に初めて電灯がつく。
1915(大正4)年 1920(大正9)年	信濃川に五反田橋がかかる。 加茂町の人口17,253人（第1回国勢調査）
1930(昭和5)年 1931(昭和6)年	昭和のはじめころ，加茂の伝統産業のひとつ「屏風」づくりが始まる。 蒲原鉄道が通る。（加茂町の人口20,720人） 加茂で初めてガスが使えるようになる。

時代	できごと
1941(昭和16)年 1942(昭和17)年 1944(昭和19)年 1945(昭和20)年 1954(昭和29)年 〃 1955(昭和30)年 1957(昭和32)年 1961(昭和36)年 1963(昭和38)年 〃 1964(昭和39)年 〃 1967(昭和42)年 〃 1968(昭和43)年 1969(昭和44)年 1972(昭和47)年 1974(昭和49)年 1975(昭和50)年 1976(昭和51)年	太平洋戦争がはじまる。 東芝など，加茂に疎開して働くための工場ができる。 加茂町に，県内最初となる集団疎開児童（東京都から約300名）がくる。 太平洋戦争が終わる。 加茂町と下条村が合併し加茂市が誕生。（人口31,638人） 七谷村が加茂市と合併する。（人口36,576人） 須田村と合併し今の加茂市になる。（人口40,007人） 上水道の給水が始まる。 第二室戸台風で大きなひ害がでる。（全半壊770棟，加茂山の杉120本が倒れる。） 一日で降った雪が110cmを記録。（三八豪雪） 消防署庁舎ができる。 新潟地震がおきる。（マグニチュード7.5） 市民体育館ができる。（新潟国体の柔道会場） 加茂川，下条川などが洪水になる。（4,660世帯がひ災） 雪椿まつりがはじまる。 椿を通じて東京都大島町が友好都市となる。 加茂川，下条川などが洪水になる。（6,600世帯が被災） 市営陸上競技場ができる。（狭口） 加茂市民俗資料館ができる。（中村） 市民プールができる。（狭口） 加茂の桐たんすが，通商産業大臣（今の経済産業大臣）から伝統的工芸品の指定をうける。 川西野球場ができる。（加茂新田）
1977(昭和52)年 1979(昭和54)年 1980(昭和55)年 〃 1981(昭和56)年	加茂小学校から分かれて石川小学校ができる。 老人福祉センター「ゆきつばき荘」ができる。（幸町） 子供プールができる。（狭口） 清掃センターができる。（田上町）

時代	できごと
1981(昭和56)年	加茂文化会館 ぶん か かいかん ができる。
1982(昭和57)年	加茂市民憲章 し みんけんしょう が定められる。
1985(昭和60)年	蒲原鉄道 かんばらてつどう 加茂～村松間 はいせん が廃線になる。
〃	七谷野球場ができる。(長谷)
〃	加茂駅前地区 ち く のまちづくりがはじまる。
1989(平成元)年	下条体育センターができる。
1990(平成2)年	特別養護老人ホーム「平成園」 へいせいえん ができる。(石川)
1991(平成3)年	彫刻の森 (加茂山公園), 新しい図書館 (神明町) ができる。
1992(平成4)年	加茂山「リス園」 ができる。
1993(平成5)年	新しい (現在の) 市役所ができる。
1994(平成6)年	新潟経営大学 にいがたけいえいだいがく ができる。(希望ヶ丘)
1995(平成7)年	加茂駅前地区のまちづくりが完成 かんせい する。
〃	下条コミュニティセンターができる。(中村)
1996(平成8)年	七谷コミュニティセンターができる。(下大谷)
〃	市民サービスセンターと中央コミュニティセンター (現在は上町コミュニティセンターと改称) かいしょう ができる。(上町)
1997(平成9)年	須田コミュニティセンターができる。(前須田)
〃	特別養護老人ホーム「第二平成園」 へいせいえん ができる。(石川)
〃	市民バス うんこう の運行がはじまる。
1998(平成10)年	室内ゲートボール施設 し せつ 「すぱーく加茂」ができる。(加茂新田)
〃	下条川治水ダムに「自然学習館 ち すい し ぜんがくしゅうかん 」ができる。
1999(平成11)年	室内温水プールができる。(神明町)
2000(平成12)年	みやげもの・インフォメーションセンターができる。(穀町)
〃	上条コミュニティセンターができる。(神明町)
〃	冬鳥越スキーガーデン ふゆどりごえ きゅうかんばらてつどう に旧蒲原鉄道電車モハ1号とモハ61号が保存 ほぞん される。
2002(平成14)年	冬鳥越スキーガーデンに直径20メートルの花時計花壇 ちよっけい か だん とバラ園ができる。
〃	丸山遺跡 まるやま い せき から旧石器時代 きゅうせつ き じ だい の石器が発見 はっけん される。(上大谷)
〃	日帰り温泉施設 ひ がえ おんせん し せつ の市民福祉交流センター「加茂美人 し みんふく し こうりゅう び じん ゆ の湯」ができる。

時代	できごと
2003(平成15)年	加茂山公園に「雪椿」 ゆきつばき か ひ 歌碑ができる。
2004(平成16)年	7.13水害 すいがい で, 河川 か せん や農地 のう ち にひ害 がい がでる。
〃	中越地震 ちゅうえつ じ しん がおきる。(マグニチュード6.8)
〃	市制施行50周年記念式典 し せい し こう しゅうねん き ねんしきてん かいさい を開催。
2005(平成17)年	(浄化センター地内に) サッカー場 じょうか ができる。
2006(平成18)年	体操トレーニングセンター たいそう ができる。(狭口)
〃	中央コミュニティセンター ちゅうおう ができる (五番町)
2007(平成19)年	二万年前旧石器公園 ふたマンネンきうしきこう ができる。(上大谷)
〃	中越沖地震 おき がおきる。(マグニチュード6.8)
2009(平成21)年	トキめき新潟国体のボクシング会場となる。
〃	特別養護老人ホーム「第三平成園」 かいどう ができる。(神明町)
2010(平成22)年	加茂大橋 かいどう が開通する。
2011(平成23)年	3月11日, 東日本大震災 だいしんさい がおきる。
〃	(日本の観測史上最大のマグニチュード9.0) かんそく し じょうさいだい
〃	7.29水害 すいがい で, 河川や農地にひ害がでる。
2018(平成30)年	加茂・田上病児保育園 びょうじ ほ いくえん ができる。(青海町)
2019(令和元)年	新しい加茂病院 びょういん ができる。(青海町)
2022(令和4)年	教育支援センター し えん やすらぎができる。(狭口)
〃	加茂西小学校が閉校する。(石川小学校へ統合 へいこう どうごう)
2024(令和6)年	加茂市立小中学校適正化方針 てきせい か ほうしん ができる。 (令和10年に市内中学校が1校へ統合、令和12年に市内小学校が2校へ統合する方針が出る)

しらべてみよう

加茂市や自分たちの住むまちのようすをもっとくわしく調べるにはどうしたらいいかな。トッキッキの調べ方をさんこうにしてみましょう。（トッキッキはトキをデザインした新潟県のマスコットキャラクターです。）

どの方法で調べてみようかな



図書館の本

- ・調べたいことの本や事典^{じてん}をさがす。
- ・目次^{もくじ}を見る。
- ・調べたいことをノートにまとめる。
- ・時間がないときや「もっと知りたい」と思ったときは本をかりる。



見学やインタビュー

- ・見学できるかどうかたしかめる。日時をたしかめる。
- ・直せつ^{しつもん}質問したり、説明^{せつめい}したりしてもらう。はたらいている人の気持ちや感そうを聞く。
- ・聞きたいこと、見たいことをきめておく。



パソコン

- ・調べたいことをはっきりさせる。
- ・インターネットを使って調べる。
- ・授業^{じゅぎょう}で使った「けんさくサイト」を使う。
- ・「けんさく」きのうを使う。
- ・県や市町村などのホームページを利用する。



電話

- ・相手の電話番号をたしかめる。
- ・聞きたいことをメモしておく。
- ・じこしょうかいと目てき^{めつき}を伝える。
- ・はじめとおわりのあいさつをわすれないようにする。

このほかにも、手紙^{てんし}や電子メールで質問する、資料館^{しりょうかん}や博物館^{はくぶつかん}を利用して調べるなどの方法があります。それぞれのよさを生かして、先生^{そうだん}と相談をして調べてみましょう。教えてもらったときは、お礼^{れい}の言葉^{ことば}や手紙もわすれないようにしましょう。

あとがき

学習指導要領の内容を踏まえるとともに、資料をより活用できるものとするため、写真や地図、データを可能な限り新しくしました。3・4年生の新しい社会科副読本「わたしたちのまち加茂」を活用することで、子どもたちが自分たちのまちの様子や社会のことがらについて興味を持ち、より一層、理解を深めるための一助となれば幸いです。

2025年度版「わたしたちのまち 加茂」編集者
(勤務校等は作成時)

編集委員長	山川雅己（加茂市教育委員会教育長）
編集委員	大野晴三（加茂小学校）
	渡辺 亮（加茂南小学校）
	立川徹也（下条小学校）
	伊藤明子（七谷小学校）
	荒井盛男（須田小学校）
編集事務局	三浦秀之（石川小学校）
	藤田和大（加茂市教育委員会）

※この本の編集のために、下記の方々からご協力いただきました。
ありがとうございました。（順不同、敬称略）

青海神社、長瀬神社、雙壁寺、小林均、三浦二郎、加茂箒箒協同組合、茂野タンス店、高橋新吾タンス店、京家、永井インテリア、中越商電社、小山商店、東芝ホームテクノ、日立ニコトランスミッション、アスコータック、チヨダシューズ、イシモク、有本電器製作所、山忠、加茂清掃工業、にいつフードセンター、リオンドール、セブンイレブン、桑田屋スポーツ店、加茂商店街協同組合、JAえちご中越、加茂市青年会議所、経済産業省、新潟県土木部、三条地域振興局、加茂警察署、三条市教育委員会、加茂・田上清掃センター、加茂地域消防本部、加茂七谷温泉 美人の湯、加茂市役所関係各課

わたしたちのまち 加茂

2025年度版

平成17年4月1日 7版発行
平成21年4月1日 7版2刷発行
平成24年4月1日 8版発行
平成27年4月1日 9版発行
令和2年4月1日 10版発行
令和7年4月1日 11版発行

編集・発行 加茂市教育委員会

制作 株式会社 野島出版

〒955-0062 三条市仲之町1番7号
電話 (0256) 34-3592
FAX (0256) 35-1350
